

# 鉄鋼需給の動き

2026年2月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は今後の緩やかな回復が期待されるものの、足元では内外需ともに力強さを欠いている。経済指標をみると、需要面では総消費動向指数が緩やかな改善を続け、消費者態度指数(1月)は前月差で2ヵ月ぶりに上昇したが、基調判断は「持ち直している」に据え置かれた。一方、外需では輸出数量指数(12月)が、米国向けの低下などから、前月比で2ヵ月ぶりに低下した。供給面では、鉱工業生産指数(12月)が、生産用機械工業やパルプ・紙・紙加工品工業などの低下により、2ヵ月連続で前月比マイナスとなった。先行きについては、1月は上昇、2月は低下が見込まれている。

海外経済を見ると、米国は、関税賦課の影響や軟調な雇用情勢への懸念があるものの、高所得者層を中心とした個人消費やAI関連投資などの下支えにより景気は底堅さを維持している。中国は、非米国向けの輸出は堅調な一方、個人消費の減速、不動産開発投資(年初累計)が2025年4月以降12月まで前年同期比で一貫して二桁マイナスとなったほか、25年の固定資産投資が36年振りの前年割れとなるなど内需は停滞している。欧州は、ユーロ圏の10~12月期の実質GDP成長率(速報:前期比)が+0.3%となるなど、物価や雇用の安定、個人消費に支えられ、経済は回復基調にある。

国内鉄鋼需要産業では、建設業では、12月の新設住宅着工戸数(前年同月比1.3%減)が2ヵ月連続で減少、非住宅着工床面積(同5.9%減)も7ヵ月連続で前年割れとなった。製造業では、鉱工業生産指数(12月)の生産用機械は2ヵ月連続、汎用・業務用機械は2ヵ月ぶり、ともに上昇し、四輪車生産台数(12月、乗用車・トラック計、同1.4%増)も4ヵ月ぶりの増加となった。こうしたなか、国内鉄鋼統計を見ると、12月の粗鋼生産(658万トン、前年同月比4.8%減)は9ヵ月連続で減少し、普通鋼鋼材生産(455万トン、同4.3%減)も2ヵ月連続で減少した。普通鋼鋼材出荷は、国内向け(275万トン、同1.4%減)、輸出向け(188万トン、同7.8%減)ともに減少し、出荷計(463万トン、同4.1%減)では4ヵ月連続の減少となった。

海外鉄鋼市場について、12月の世界粗鋼生産は前年同月比3.7%減の1億3,960万トンと4ヵ月連続で減少し、25暦年では前年比2.0%減の18億380万トンと2年連続での減少となった。中国の粗鋼生産は同10.3%減の6,818万トンと8ヵ月連続で減少し、23年12月の6,744万トン以来の水準となった。暦年(前年比4.4%減、9億9,634万トン)では2年連続の減少となった一方、鋼材輸出(前年比7.5%増、1億1,902万トン)は過去最高を更新した。

当面の経済及び鉄鋼需給の下振れリスクとして、日中関係の悪化、米国をはじめとする各国の通商政策、高水準が続く中国の鋼材輸出などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き内外経済及び鉄鋼需給の動向を注視する必要がある。

### 1.経済動向

- ・10-12月期の実質GDP成長率(一次速報)は、季調済前期比0.1%増(年率換算0.2%増)と2期ぶりのプラス。
- ・12月の小売販売額は前年同月比0.9%減と4ヵ月ぶりの減少、同月の総消費動向指数は前年同月比0.6%増と17ヵ月連続の上昇。
- ・1月の乗用車販売は前年同月比7.1%減の28.4万台と7ヵ月連続の減少。普通車、小型車、軽四輪がともに減少。
- ・11月の機械受注は前月比11.0%減と3ヵ月ぶりに減少。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」が据え置かれた。
- ・12月の鉱工業生産は2ヵ月連続で前月比低下。基調判断は「一進一退」を維持。先行きは、1月は上昇、2月は低下を予測。

### 2.鉄鋼需要産業動向

#### (建設部門)

- ・土木:12月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比26.5%増と2ヵ月ぶりの増加。民間土木は同21.6%増と2ヵ月ぶりの増加。
- ・建築:12月の新設住宅着工戸数は前年同月比1.3%減と2ヵ月連続での減少。25暦年では、前年比6.5%減の74.1万戸と3年連続での減少となった。非住宅着工床面積は同5.9%減と7ヵ月連続の減少。25暦年では、前年比7.0%減の3,648万㎡と4年連続の減少となった。

#### (製造業部門)

- ・自動車:12月の四輪車生産計は前年同月比1.9%増の69.1万台と4ヵ月ぶりの増加。25暦年では、乗用車、トラックがともに前年比増加となったことにより、2.1%増の841万台と2年ぶりのプラス。
- ・産業機械:12月の生産用機械は前年同月比5.3%増と2ヵ月連続での上昇、汎用・業務用機械は同6.0%増と2ヵ月ぶりに上昇。
- ・造船:1月の輸出船契約量は前年同月比13.4%減の43.9万G/Tと3ヵ月ぶりの減少。同月末の手持工事量は2,936万G/T。

### 3.鋼材受注

- ・普通鋼:12月の内需は前年同月比1.8%増の291万トンと4ヵ月連続で増加。25暦年内需は前年比1.0%減の3,308万トンと4年連続の減少。
- ・特殊鋼:12月の内需は前年同月比1.2%増の86.5万トンと2ヵ月連続の増加。25暦年内需は前年比前年比横ばいの993万トン。

### 4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:1月の粗鋼生産(速報)は前年同月比0.5%減の675万トンと10ヵ月連続の減少となった。
- ・鋼材生産:1月の普通鋼鋼材生産(速報)は前年同月比4.7%減の449万トンと3ヵ月連続での減少。11月の特殊鋼鋼材生産は同3.0%減の117万トンと2ヵ月連続での減少。
- ・出荷:12月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比1.2%減の276万トンと3ヵ月連続の減少。11月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同1.1%減の85.6万トンと3ヵ月連続の減少。
- ・在庫:12月末の普通鋼鋼材国内在庫は512万トンと前月末比2ヵ月連続での増加。11月の特殊鋼鋼材在庫は154万トンと3ヵ月連続の減少。

### 5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・12月の鋼材輸入は、前年同月比9.7%減の43万トンと4ヵ月連続の減少。25暦年は前年比6.8%減の519万トンと3年ぶりの減少となった。

### 6.鉄鋼輸出

- ・1月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比8.0%減の229万トンと3ヵ月連続での減少。

### 7.海外市場

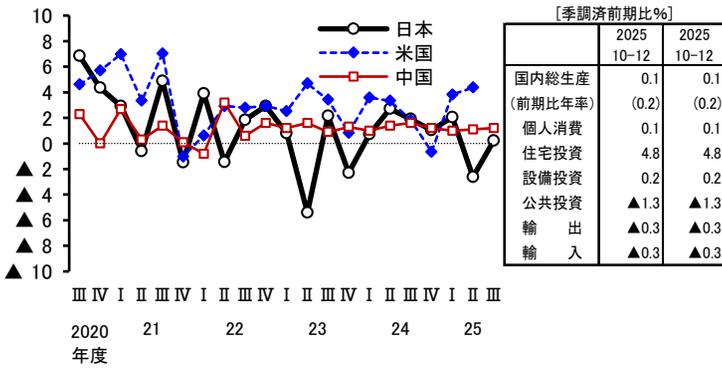
- ・世界粗鋼生産:12月(worldsteel、70ヵ国)の粗鋼生産は前年同月比3.7%減の1億3,960万トンと4ヵ月連続の減少。25暦年(世界合計)では前年比2.0%減の18億380万トンと2年連続での減少。
- ・中国:2025年12月(国家统计局)の粗鋼生産は、前年同月比10.3%減の6,818万トン(日産量219.9万トン)。25暦年では前年比4.4%減の9億6,081万トン。12月の鋼材輸出は前年同月比16.2%増の1,130.1万トンと2ヵ月連続での前年同月比増加、25暦年では前年比7.5%増の1億1,901.9万トンと15暦年の1億1,240.0万トンを上回り、過去最高を更新。同月の鋼材輸入は前年同月比16.7%減の51.7万トンと2ヵ月ぶりの前年同月比減少、25暦年では前年比11.1%減の605.9万トン。

1. 経済動向 —12月の鉱工業生産(速報)は2カ月連続で低下、先行きは1月は上昇、2月は低下の見込み—

・10~12月期の実質GDP成長率(1次速報)は、季調済前期比0.1%増と2期ぶりのプラスとなった(年率換算0.2%増)。外需寄与度、内需寄与度はともに0.0ptであった。支出項目別には、個人消費(0.1%増)が7期連続の増加、設備投資(0.2%増)が2期ぶりの増加、住宅投資(4.8%増)が2期ぶりの増加、公共投資(1.3%減)が2期連続の減少となった。輸出入動向では、輸出(0.3%減)が2期連続の減少、輸入(0.3%減)が2期連続の減少となった。

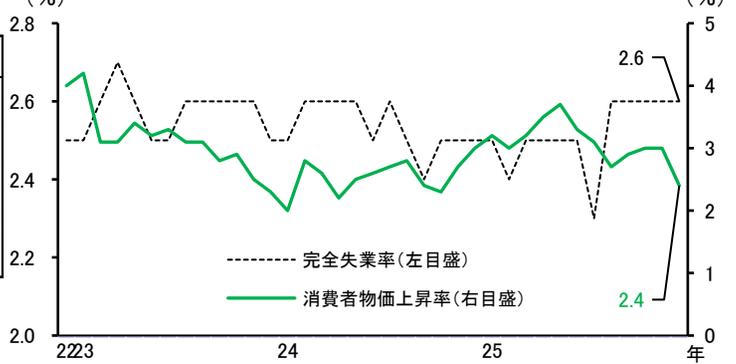
・12月の完全失業率は前月から横ばいの2.6%。  
 ・同月の消費者物価上昇率(生鮮食品を除く総合、前年同月比)は前月から0.6ポイント低下の+2.4%。

〔図1〕日本、米国、中国の実質GDP成長率(%)



(出所)内閣府、米国商務省、中国国家統計局  
 (注)日本、米国は前期比年率、中国は前年同期比。

〔図2〕失業率と消費者物価上昇率

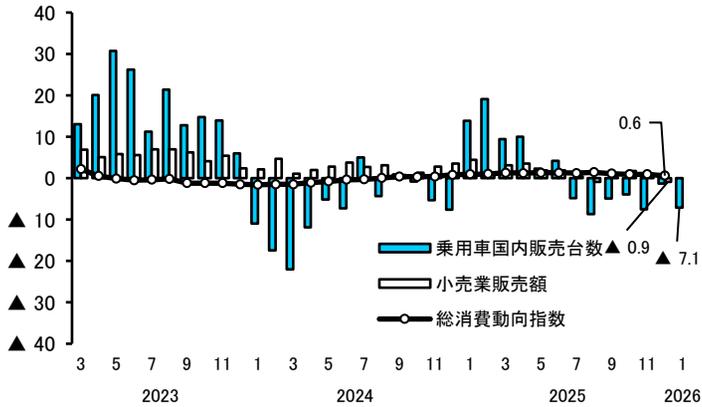


(出所)総務省

・1月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比7.1%減と7カ月連続の減少。普通車が11カ月連続、小型車が3カ月ぶり、軽四輪が2カ月ぶりにマイナスとなった。  
 ・12月の小売業販売額は前年同月比0.9%減と4カ月ぶりの減少。  
 ・同月の総消費動向指数(2020年基準、実質)は前年同月比0.6%増と17カ月連続のプラスとなった。

・11月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済。以下、同)11.0%減の8,839億円と3カ月ぶりに減少。内訳は、製造業(10.8%減)は非鉄金属業等の減少により2カ月連続で減少、非製造業(10.7%減)は鉱業・採石業・砂利採取業、金融業・保険業等の減少により2カ月ぶりの減少となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」が据え置かれた。

〔図3〕個人消費関連指標(前年同月比増減率・%)



(出所)自販連、経済産業省、総務省

〔図4〕機械受注(船舶・電力を除く民需・季調済)

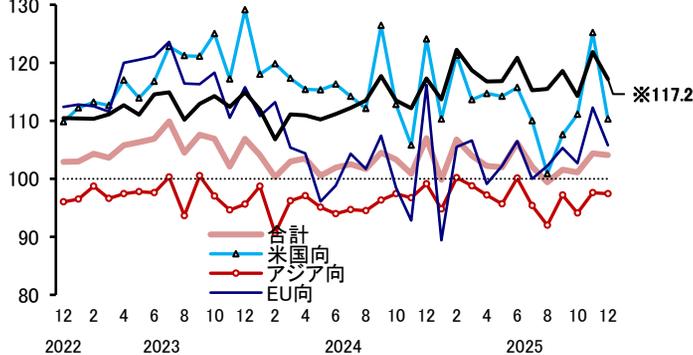


(出所)内閣府

・12月の輸出数量指数(季調済)は前月比0.2%減と2カ月ぶりの低下となった。向け先別では、アジア向け、EU向け、米国向けがともに低下した。  
 ・同月の実質輸出(日銀)は前月比3.8%減となった。

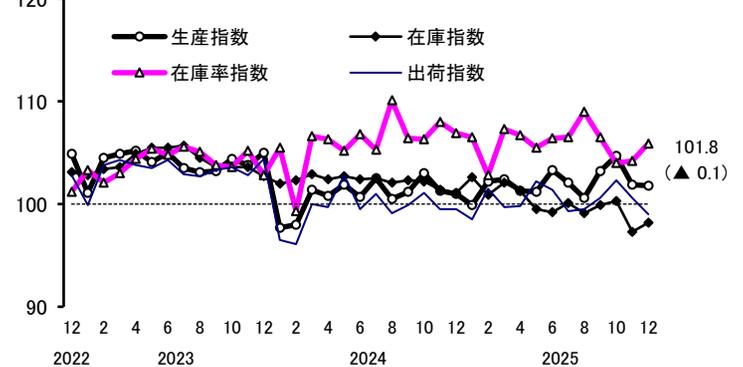
・12月の鉱工業生産(季調済)は、前月比(以下、同)0.1%減の101.8と2カ月連続で低下した。業種別みると、生産用機械工業、化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。製造工業生産予測調査は、1月は9.3%増、2月は4.3%減と予測。基調判断は「一進一退」を維持。出荷(99.0)は同1.6%減と低下、在庫(98.2)は同0.9%増と上昇、在庫率(105.9)は同1.6%増と上昇した。

〔図5〕輸出数量指数(2020年=100、季調済)



(出所)財務省「貿易統計」を元に日本鉄鋼連盟にて季節調整。  
 (※)は日銀「実質輸出指数」(2020年=100、季調済)。

〔図6〕鉱工業生産・出荷・在庫指数(2020年=100、季調済)



(出所)経済産業省

2. 鉄鋼需要産業動向

－1月の四輪車販売は2ヵ月ぶりのマイナス－

<土木>

○1月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比3.9%減の2,955億円と2ヵ月ぶりの減少

- ・発注者別には、地方の機関(5.4%増・4ヵ月ぶり)が増加したものの、国の機関(28.1%減・6ヵ月ぶり)が減少し、全体では前年同月比3.9%減の2,955億円と2ヵ月ぶりの減少となった。

○12月の公共土木工事受注額は前年同月比26.5%増の1兆2,022億円と2ヵ月ぶりの増加

- ・農林水産(2.7%減)等が減少したものの、道路(17.3%減)、港湾空港(87.4%増)、下水道公園(10.4%増)、鉄道(24.5%増)等が増加し全体では前年同月比26.5%増の1兆2,022億円と2ヵ月ぶりの増加となった。25暦年では、前年比1.5%減の14兆1,952億円となった。

○12月の民間土木工事受注額は前年同月比21.6%増の5,529億円、2ヵ月ぶりの増加

- ・不動産(75.8%減)等が減少したものの、製造・鉱業・建設(19.9%増)、電気ガス(1.8倍)等が増加したことから、全体では前年同月比21.6%増の5,529億円と2ヵ月ぶりの増加となった。25暦年では、22.8%増の5兆7,725億円となった。

<建築>

○12月の新設住宅着工戸数は前年同月比1.3%減の6.2万戸と2ヵ月連続での減少

- ・利用関係別には、分譲(1.9%増・2ヵ月ぶり)が増加したものの、持家(1.8%減・9ヵ月連続)、貸家(3.4%減・2ヵ月連続)が減少したことから、全体では1.3%減の6.2万戸と2ヵ月連続での減少となった。
- ・25暦年では、前年比6.5%減の74.1万戸と3年連続での減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は77.1万戸となった。

○12月の非住宅着工床面積は前年同月比5.9%減の276万㎡と7ヵ月連続の減少

- ・用途別では、鉱工業(21.5%増)、商業・サービス(7.2%増)が増加したものの、公益事業(25.5%減)、公務文教(29.6%減)等が減少したことから、全体では5.9%減の276万㎡と7ヵ月連続の減少となった。
- ・使途別では、事務所(12.2%増)、工場(11.8%増)が増加したものの、店舗(24.1%減)、倉庫(7.9%減)が減少した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は3,486万㎡となった。
- ・25暦年では、前年比7.0%減の3,648万㎡と4年連続の減少となった。

〔表1〕建設関連統計指標

(単位：億円、千戸、%)

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算着工戸数
	国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マシヨ)		
2023年度	86,326	29,977	56,349	137,051	43,710	800.2	219.6	340.4	235.0	100.2	-
2024年度	86,633	29,176	57,457	140,959	48,949	816.4	223.2	357.1	229.5	105.2	-
2024年10-12月	15,240	2,797	12,443	29,346	12,170	197.7	57.3	82.7	55.9	24.3	778.1
2025年 1-3月	17,700	6,530	11,170	41,673	14,934	206.5	52.8	92.8	59.8	28.3	887.9
4-6月	32,530	13,655	18,874	29,938	14,669	155.4	41.6	68.1	43.1	18.4	600.7
7-9月	23,573	6,052	17,521	37,570	14,193	185.3	53.5	82.5	48.1	18.2	717.0
10-12月	15,243	3,603	11,639	32,771	13,930	193.5	53.5	81.5	57.1	24.9	763.9
2025年 11月	4,169	792	3,377	8,066	3,570	59.5	17.9	25.3	16.1	5.6	717.9
12月	4,343	1,422	2,921	12,022	5,529	62.1	17.5	25.5	18.5	7.7	770.6
2026年 1月	2,955	615	2,340	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	3.2	2.7	3.4	▲7.4	▲7.5	▲7.0	▲11.5	▲2.0	▲9.4	▲12.0	-
2024年度	0.4	▲2.7	2.0	2.9	12.0	2.0	1.6	4.9	▲2.3	5.0	-
2024年10-12月	5.6	8.6	5.0	6.3	27.3	▲2.4	8.3	▲3.6	▲10.5	▲11.9	▲1.7
2025年 1-3月	▲13.0	▲24.7	▲4.3	▲7.1	14.9	13.3	10.5	19.2	7.6	11.0	14.1
4-6月	4.8	▲5.6	13.9	▲3.3	20.7	▲25.6	▲23.4	▲24.3	▲31.0	▲41.4	▲32.3
7-9月	4.1	12.5	1.4	▲3.6	46.4	▲8.9	▲9.1	▲9.9	▲6.2	▲14.1	19.4
10-12月	0.0	28.8	▲6.5	11.7	14.5	▲2.1	▲6.7	▲1.4	2.1	2.7	6.5
2025年 11月	▲12.3	1.5	▲15.1	▲6.9	▲2.7	▲8.5	▲9.5	▲5.5	▲11.3	▲29.7	▲10.6
12月	10.7	43.3	▲0.3	26.5	21.6	▲1.3	▲1.8	▲3.4	1.9	2.5	7.3
2026年 1月	▲3.9	▲28.1	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	74,301	23,925	50,375	100,279	42,791	534.1	148.5	232.2	148.4	61.6	-
前年同期	72,009	23,502	48,507	99,286	34,015	609.9	170.4	264.2	169.8	76.9	-
増減量	2,291	423	1,868	993	8,776	▲75.7	▲21.9	▲32.1	▲21.4	▲15.3	-
前年同期比	3.2	1.8	3.9	1.0	25.8	▲12.4	▲12.8	▲12.1	▲12.6	▲19.9	-

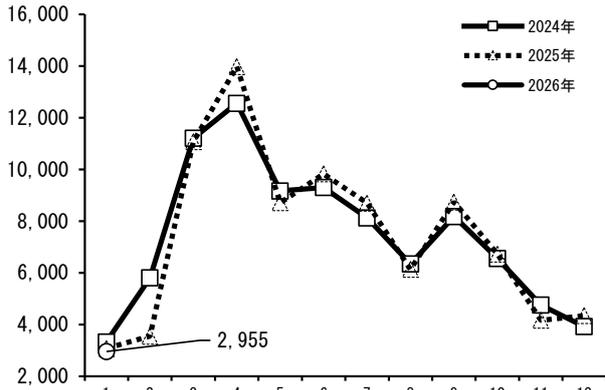
(出所)保証事業者協会、国土交通省

(注)1.土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

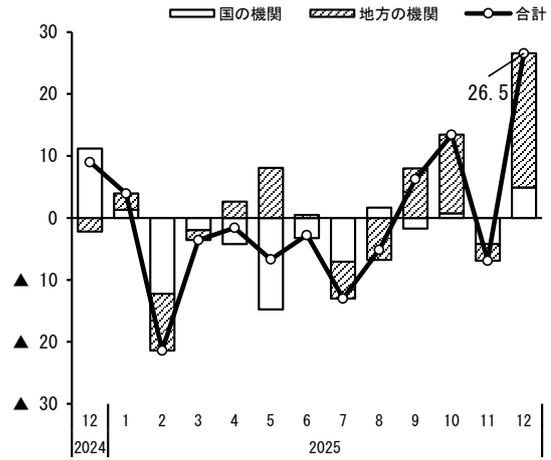
2.年率換算着工戸数は前月(期)比増減率。

3.土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

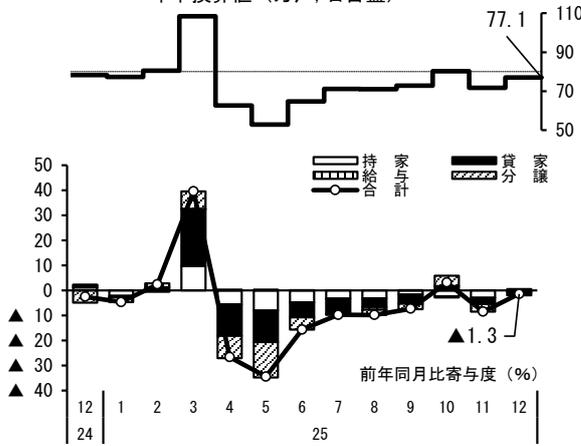
〔図7〕 公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



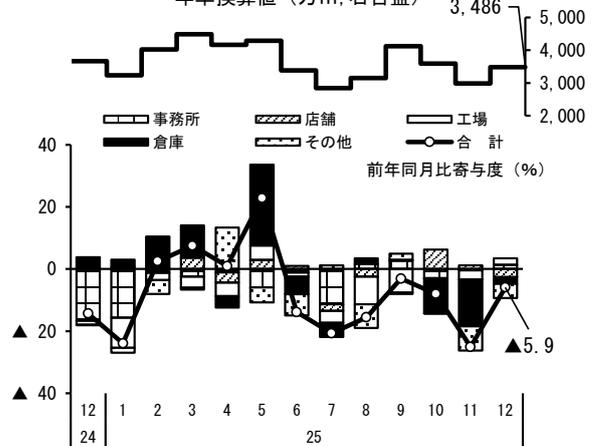
〔図8〕 公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図9〕 新設住宅着工戸数  
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図10〕 非住宅用途別着工床面積  
年率換算値（万㎡、右目盛）



〔表1〕 建設関連統計指標（続）

（単位：万㎡、%）

	建築着工床面積計											鋼構造建築着工床面積		
	居住用		非居住用	用途別				使 途 別				SRC	RC	S
	住宅	持家	(鉱工業)	(商業・サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)				
2023年度	10,832	6,552	4,279	957	1,292	1,019	805	621	363	728	1,184	153	2,260	3,834
2024年度	10,448	6,573	3,875	841	1,242	909	733	527	382	672	1,037	173	2,087	3,571
2024年 7-9月	2,593	1,610	983	227	341	185	196	137	97	193	236	28	459	923
10-12月	2,557	1,612	945	204	282	236	193	120	80	159	269	61	470	856
2025年 1-3月	2,571	1,656	915	171	271	281	149	131	90	130	294	46	575	823
4-6月	2,286	1,232	1,054	230	364	244	163	112	113	181	279	19	463	930
7-9月	2,346	1,489	857	179	275	194	162	114	84	126	225	32	368	832
2025年 10月	877	568	309	76	112	44	63	44	45	60	51	4	187	294
11月	722	486	236	57	77	40	52	32	29	38	51	3	122	223
12月	782	506	276	74	88	57	45	37	24	57	75	4	129	281
2023年度	▲8.8	▲8.8	▲8.8	▲12.3	▲3.5	▲7.2	▲11.8	3.4	▲15.0	▲16.8	▲7.6	▲35.5	▲8.0	▲8.7
2024年度	▲3.5	0.3	▲9.4	▲12.2	▲3.9	▲10.8	▲8.9	▲15.2	5.2	▲7.7	▲12.4	13.0	▲7.7	▲6.9
2024年 7-9月	▲6.6	▲5.4	▲8.5	▲4.4	10.8	▲28.4	▲7.0	9.7	1.3	10.8	▲19.6	▲41.1	▲17.4	▲0.1
10-12月	▲9.0	▲4.4	▲15.8	▲9.7	▲22.8	▲14.6	▲7.6	▲30.4	▲20.3	▲9.6	▲18.1	88.7	▲25.2	▲14.4
2025年 1-3月	7.2	15.2	▲4.8	▲32.9	▲12.7	46.2	▲9.4	▲32.2	19.4	▲28.2	33.3	127.7	25.3	▲11.7
4-6月	▲16.2	▲27.3	2.2	▲3.9	4.3	17.7	▲16.0	▲18.4	▲0.8	▲4.7	17.0	▲51.0	▲20.6	▲4.1
7-9月	▲9.5	▲7.5	▲12.9	▲21.2	▲19.2	4.8	▲17.0	▲17.1	▲13.3	▲34.5	▲4.6	13.5	▲19.8	▲9.8
2025年 10月	▲3.5	▲0.9	▲8.0	▲1.8	4.1	▲41.4	▲3.7	▲18.1	87.8	▲0.5	▲42.7	▲89.3	8.6	▲0.7
11月	▲14.5	▲8.1	▲25.1	▲12.8	▲16.6	▲53.3	▲18.4	▲3.5	14.5	▲20.0	▲47.9	▲85.4	▲18.0	▲21.1
12月	▲2.6	▲0.7	▲5.9	21.5	7.2	▲25.5	▲29.6	12.2	▲24.1	11.8	▲7.9	▲36.1	▲13.4	1.7
1月からの累計	9,585	5,938	3,648	787	1,187	859	635	471	385	593	976	108	1,844	3,383
前年同期	10,276	6,355	3,921	924	1,282	821	748	589	367	723	964	148	1,971	3,680
増減量	▲691	▲417	▲274	▲138	▲95	38	▲113	▲118	18	▲130	12	▲40	▲127	▲297
前年同期比	▲6.7	▲6.6	▲7.0	▲14.9	▲7.4	4.7	▲15.1	▲20.1	4.9	▲18.0	1.2	▲27.3	▲6.4	▲8.1

（注）2025年1月から産業用建築物の用途分類における中区分が廃止されたことに伴い、用途別内訳の構成を過去に遡り変更した。用途別の「公益事業」は、「電気・ガス・熱供給・水道業用建築物」と「運輸業用建築物」の合計。

＜自動車＞－12月の四輪車生産計は4ヵ月ぶりのプラス

○1月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比3.1%減の34.3万台と2ヵ月ぶりのマイナス

- ・1月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(7.1%減)は、普通車が11ヵ月連続、小型車が3ヵ月ぶり、軽四輪が2ヵ月ぶりにマイナスだったことから、全体では7ヵ月連続で減少となった。トラック(23.4%増)は、普通車が2ヵ月ぶり、小型車が7ヵ月連続、軽四輪が2ヵ月連続でプラスとなり、全体では4ヵ月連続での増加となった。バス(3.2%減)は、2ヵ月ぶりのマイナス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比3.1%減の34.3万台と2ヵ月ぶりのマイナスとなった。

○12月の完成車輸出は前年同月比7.8%減の36.8万台と4ヵ月連続でのマイナス

- ・12月の完成車輸出は、アジア向け(1.7%増)、中近東向け(3.4%増)などが増加したものの、欧州向け(2.7%減)、米国向け(16.4%減)、オセアニア向け(42.2%減)などが減少したことで、全体では前年同月比7.8%減の36.8万台と4ヵ月連続でのマイナスとなった。25暦年の完成車輸出は、前年比1.0%減の417万台と2年連続でのマイナスとなった。
- ・1月の米国新車販売は、前年同月比0.2%増の110.6万台と4ヵ月ぶりにプラス。季調済・年率換算では1,485万台となった。また、1月の中国新車販売(中国汽车工业协会発表)は、前年同月比3.2%減の234.6万台と2ヵ月連続でマイナスとなった。

○12月の四輪車生産計は前年同月比1.9%増の69.1万台と4ヵ月ぶりのプラス

- ・12月の生産について、乗用車(0.3%減)は、小型車が2ヵ月連続、軽四輪が2ヵ月ぶりで増加したものの、普通車が4ヵ月連続で減少したことで、全体では4ヵ月連続で減少した。トラック(15.6%増)は、普通車が4ヵ月連続、小型車が5ヵ月連続、軽四輪が2ヵ月連続でプラスとなったことから、全体では前年同月比14.4%増の9万台と4ヵ月連続で増加した。
- ・四輪車計では前年同月比1.9%増の69.1万台と4ヵ月ぶりのプラスとなった。25暦年では、乗用車、トラックともに前年比増加となったことから、合計では前年比2.1%増の841万台と2年ぶりのプラスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

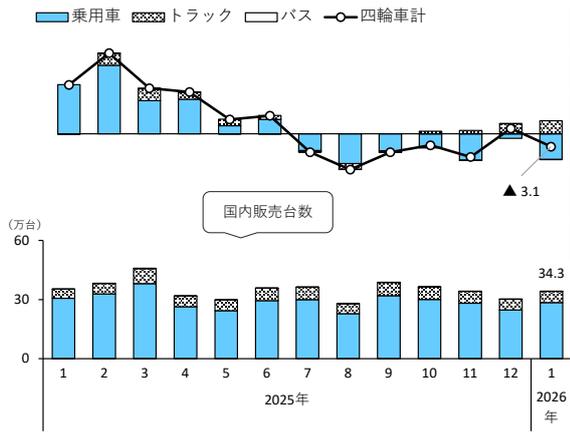
(単位：千台、%)

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販売計
		乗用車	トラック				バス					
			普通車	小型車	軽四輪	普通車		小型車	軽四輪			
2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2024年度	4,245	3,547	1,475	809	1,263	688	139	184	364	11	331	4,576
2024年10-12月	1,036	868	366	192	310	166	35	40	92	2	85	1,122
2025年 1- 3月	1,195	1,016	421	230	365	176	37	50	89	4	90	1,285
4- 6月	976	802	314	189	299	171	31	48	93	2	84	1,060
7- 9月	1,031	848	333	192	323	180	34	53	93	2	89	1,120
10-12月	1,010	829	318	195	316	178	35	54	90	2	90	1,100
2025年 11月	342	281	110	66	105	60	12	19	30	1	27	369
12月	303	247	90	60	96	55	12	16	27	1	33	335
2026年 1月	343	284	112	64	108	58	10	16	31	1	25	368
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2024年度	0.7	0.6	0.7	0.9	0.3	0.6	8.0	▲2.4	▲0.4	20.4	6.3	1.0
2024年10-12月	▲5.0	▲4.4	2.1	▲8.6	▲8.8	▲8.0	15.2	▲19.9	▲9.1	▲9.6	6.3	▲4.3
2025年 1- 3月	13.7	13.7	3.4	26.2	20.1	13.3	10.1	21.6	10.5	24.3	12.5	13.6
4- 6月	5.8	5.4	▲3.4	9.1	14.0	8.0	▲3.0	9.3	11.5	▲11.1	13.4	6.4
7- 9月	▲5.6	▲6.0	▲8.2	▲9.9	▲0.8	▲3.6	▲6.0	6.4	▲7.6	▲20.7	10.5	▲4.5
10-12月	▲2.6	▲4.5	▲13.0	1.7	1.8	7.4	0.2	34.7	▲1.8	▲4.3	5.8	▲1.9
2025年 11月	▲5.6	▲7.5	▲17.2	4.0	▲2.5	5.0	0.1	34.8	▲6.2	▲3.5	0.0	▲5.2
12月	1.3	▲1.3	▲12.5	17.5	0.7	14.9	▲2.1	28.7	16.7	5.4	6.1	1.7
2026年 1月	▲3.1	▲7.1	▲11.1	▲5.9	▲3.4	23.4	9.1	41.4	20.6	▲3.2	10.5	▲2.3
4月からの累計	3,359	2,764	1,078	640	1,046	587	110	171	306	7	289	3,648
前年同期	3,403	2,837	1,180	647	1,010	558	112	145	301	8	263	3,667
増 減 量	▲45	▲73	▲103	▲6	36	29	▲2	26	6	▲1	26	▲19
前年同期比	▲1.3	▲2.6	▲8.7	▲1.0	3.6	5.2	▲1.9	17.8	1.9	▲11.8	9.8	▲0.5

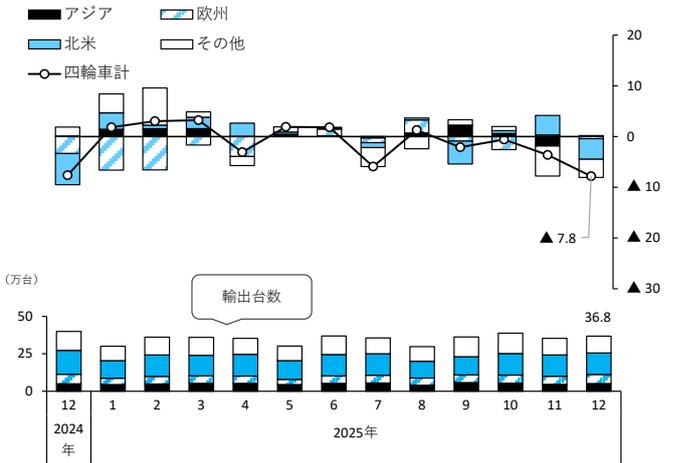
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

(注) 車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

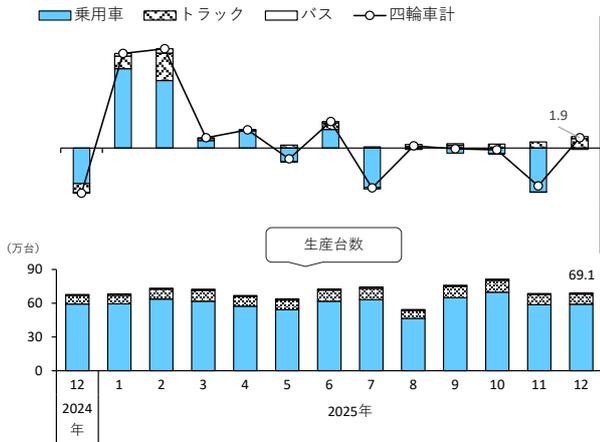
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



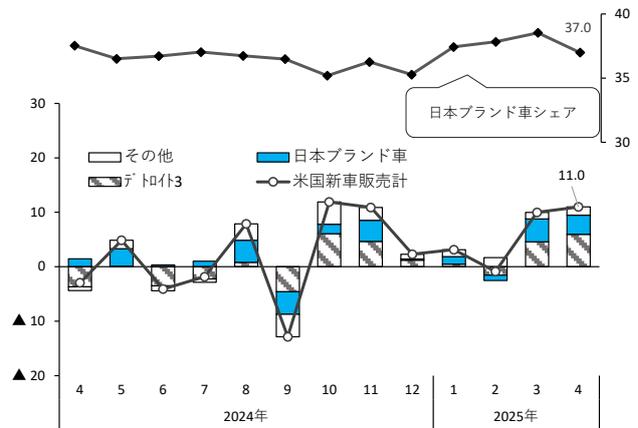
〔図12〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	輸 出								生 産				米国新車販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州 (EU)	北 米 (米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+トラック	乗用車	トラック			
2023年度	4,462	582	467	807	578	1,745	1,501	474	8,678	8,580	7,545	1,035	15,673
2024年度	4,244	599	555	615	422	1,621	1,384	468	8,468	8,359	7,315	1,043	16,053
2024年10-12月	1,156	156	158	179	118	428	373	136	2,234	2,206	1,949	257	4,211
2025年 1-3月	1,021	147	137	143	98	397	334	99	2,139	2,110	1,851	259	3,915
4-6月	1,025	151	125	134	85	412	348	104	2,033	2,003	1,734	270	4,178
7-9月	1,017	155	133	151	104	375	307	99	2,047	2,016	1,745	271	4,087
10-12月	1,110	153	148	168	119	429	358	103	2,191	2,161	1,877	284	4,015
2025年 10月	388	55	50	54	39	143	118	46	814	803	699	104	1,271
11月	354	46	46	54	36	142	122	32	686	676	587	89	1,283
12月	368	52	53	61	43	143	117	24	691	682	591	91	1,460
2023年度	15.5	0.9	0.6	36.3	43.2	21.3	17.0	15.9	7.1	7.1	10.7	▲13.5	11.8
2024年度	▲4.9	2.8	18.9	▲23.9	▲27.0	▲7.1	▲7.8	▲1.4	▲2.4	▲2.6	▲3.0	0.8	2.4
2024年10-12月	▲6.5	▲3.9	29.3	▲23.5	▲29.8	▲13.1	▲12.5	9.4	▲7.6	▲7.7	▲6.9	▲12.9	8.2
2025年 1-3月	2.7	11.6	27.1	▲25.1	▲29.7	5.2	4.8	▲5.6	12.3	11.9	10.5	23.1	4.9
4-6月	0.1	1.1	1.8	▲6.2	▲12.3	2.9	2.8	▲11.2	2.2	2.1	1.7	5.2	3.0
7-9月	▲2.5	6.4	▲2.5	0.6	▲3.6	▲4.9	▲9.5	▲14.1	▲2.8	▲3.1	▲3.6	0.1	5.6
10-12月	▲4.0	▲2.3	▲6.3	▲5.8	0.2	0.1	▲4.1	▲24.7	▲1.9	▲2.0	▲3.7	10.5	▲4.7
2025年 10月	▲0.6	4.6	▲8.1	▲15.6	▲7.7	1.6	▲1.8	2.3	▲0.3	▲0.3	▲1.2	6.1	▲5.3
11月	▲3.6	▲12.9	▲14.0	2.3	7.1	11.0	8.7	▲34.3	▲7.2	▲7.3	▲9.5	10.8	▲6.6
12月	▲7.8	1.7	3.4	▲2.7	2.6	▲10.1	▲16.4	▲42.2	1.9	1.6	▲0.3	15.6	▲2.3
1月からの累計	4,173	606	544	596	406	1,613	1,346	404	8,410	8,291	7,207	1,084	16,194
前年同期	4,217	583	526	663	463	1,601	1,369	473	8,235	8,134	7,139	995	15,870
増 減 量	▲44	23	18	▲67	▲57	12	▲23	▲69	176	157	68	89	325
前年同期比	▲1.0	3.9	3.4	▲10.0	▲12.3	0.8	▲1.7	▲14.6	2.1	1.9	0.9	9.0	2.0

(出所) 日本自動車工業会、ウォード自動車情報社  
 (注) 四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

<産業機械>

○11月の受注は前年同月比13.8%増と7ヵ月連続の増加

- ・ 民需(1.9%減・2ヵ月連続)、官公需(10.3%減・2ヵ月ぶり)が減少したものの、外需(31.2%増・5ヵ月連続)が増加した。外需では、原動機(26.2%減・4ヵ月ぶり)が減少したものの、産業機械(52.2%増・2ヵ月連続)、工作機械(12.1%増・9ヵ月連続)などが増加した。

○12月の生産用機械工業の生産は前年同月比5.3%増と2ヵ月連続での上昇。また、汎用・業務用機械工業の生産は同6.0%増と2ヵ月ぶりの上昇。

- ・ 生産用機械工業の生産を機種別にみると、金属加工工作機械(8.9%減・5ヵ月連続)、化学機械(13.6%減・2ヵ月ぶり)等が低下したものの、農業用機械(35.2%増・7ヵ月連続)、建設・鉱山機械(14.3%増・2ヵ月連続)などが上昇したことから、全体では前年同月比5.3%増と2ヵ月連続での上昇となった。
- ・ 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、冷凍機・温湿調整装置(11.4%減・5ヵ月連続)が減少したものの、ボイラ・原動機(5.4%増・3ヵ月ぶり)、運搬装置(46.5%増・3ヵ月連続)などが上昇したことから、全体では前年同月比6.0%増と2ヵ月ぶりの上昇となった。

<電気機械>

○12月の生産は、前年同月比3.3%増と2ヵ月ぶりの上昇

- ・ 重電機は、前年同月比1.0%減と2ヵ月連続での低下となった。品目別には、開閉制御装置(2.0%増、2ヵ月ぶり)が上昇したものの、回転電機(3.5%減・2ヵ月連続)、静止電機(5.6%減・2ヵ月ぶり)が低下した。
- ・ 家庭用電気機器は、民生用電機(4.1%増・2ヵ月ぶり)が増加したものの、民生用電子(13.2%減・13ヵ月連続)が低下したことから、全体では前年同月比0.3%減と14ヵ月連続の低下となった。

<造船>1月末の手持工事量は前月末比2.2%減の2,936万G/Tと3ヵ月ぶりの減少

- ・ 12月の起工量は前年同月比61.0%増の99.4万G/Tと2ヵ月ぶりの増加となった。
- ・ 1月の輸出船契約量は前年同月比13.4%減の43.9万G/Tと3ヵ月ぶりの減少となった。
- ・ 1月末の手持工事量は前月末比2.2%減の2,936万G/Tと3ヵ月ぶりの減少となった。

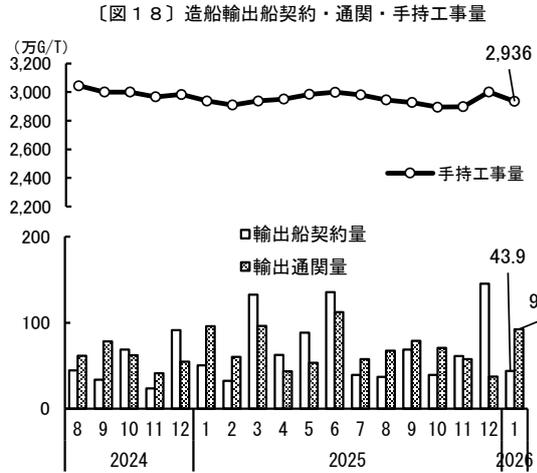
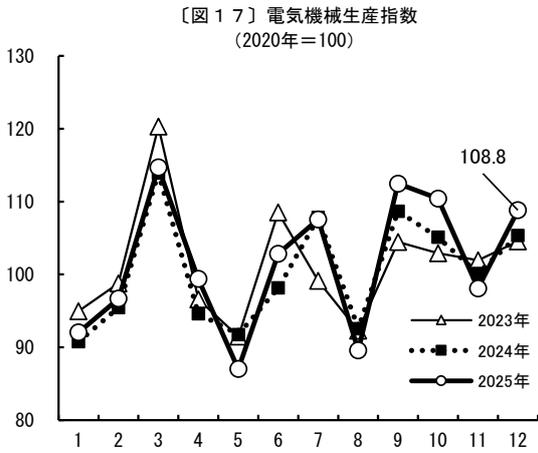
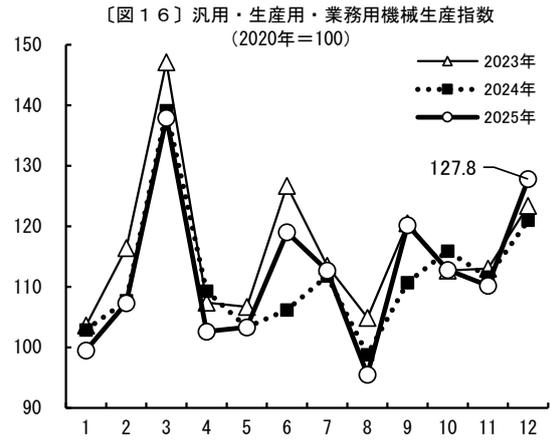
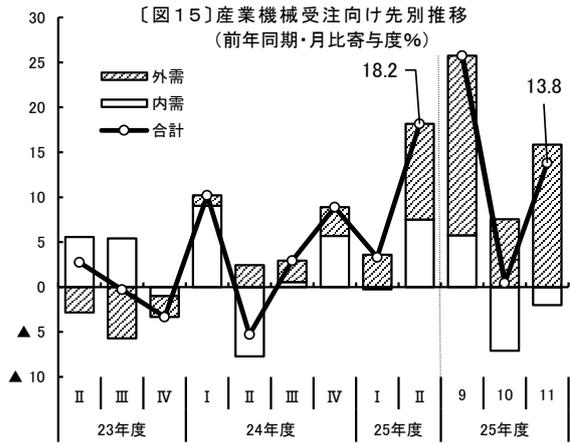
〔表4〕 産業機械活動水準

(単位:億円、IIP<20年=100>、%)

	受注額				IIP								
	合計	民需	官公需	外需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2023年度	139,087	58,829	9,175	65,946	119.5	92.2	131.1	91.3	131.8	110.0	108.6	108.8	109.4
2024年度	144,684	59,504	10,389	69,180	118.5	67.4	105.9	98.1	115.9	103.3	90.1	90.8	111.8
2024年10-12月	34,768	14,467	1,684	17,116	124.2	60.0	103.5	104.6	121.2	107.7	95.6	92.4	115.3
2025年 1-3月	39,328	16,325	3,825	17,797	123.4	67.3	99.7	97.8	124.0	105.9	86.1	101.6	108.2
4-6月	37,169	15,342	2,348	18,008	114.4	76.7	103.4	104.1	106.5	101.9	83.2	84.8	113.8
7-9月	40,899	15,982	2,160	21,234	114.3	73.7	103.7	91.2	113.8	104.4	89.8	86.8	110.6
10-12月	-	-	-	-	124.4	76.6	107.4	95.8	111.3	109.0	94.6	107.8	103.8
2025年 10月	11,703	4,347	749	6,064	115.9	75.0	112.6	92.2	113.1	109.4	89.0	86.3	117.8
11月	12,467	4,206	467	7,293	119.0	70.4	101.6	88.8	108.5	100.9	83.3	93.0	99.2
12月	-	-	-	-	138.2	84.5	107.9	106.5	112.4	116.8	111.4	144.0	94.5
2023年度	▲1.8	3.1	9.5	▲7.2	▲9.9	▲15.0	3.5	▲11.6	▲7.7	▲3.9	▲9.4	6.9	▲2.2
2024年度	4.0	1.1	13.2	4.9	▲0.8	▲26.9	▲19.3	7.4	▲12.0	▲6.1	▲17.1	▲16.6	2.2
2024年10-12月	2.9	1.8	▲10.1	5.0	5.6	▲25.7	▲23.5	8.9	▲9.2	▲6.3	▲23.3	▲21.7	▲0.7
2025年 1-3月	8.9	5.6	37.8	7.0	▲1.0	▲23.7	▲19.3	▲0.2	4.1	▲1.9	▲16.7	▲18.5	0.2
4-6月	3.3	▲1.7	0.0	7.7	0.0	▲2.6	▲12.2	21.1	0.2	4.3	▲2.0	8.4	0.1
7-9月	18.2	21.9	▲14.7	21.0	1.9	16.1	1.2	▲12.3	1.4	2.5	▲4.3	▲4.5	0.6
10-12月	-	-	-	-	0.1	27.7	3.8	▲8.4	▲8.2	1.2	▲1.1	16.6	▲9.9
2025年 10月	0.5	▲21.0	40.8	17.0	▲6.8	23.4	▲3.3	▲17.2	▲5.3	2.1	▲0.7	0.2	▲3.4
11月	13.8	▲1.9	▲10.3	31.2	1.6	24.2	2.1	12.4	▲10.3	▲4.6	▲9.0	0.1	▲15.3
12月	-	-	-	-	5.3	35.2	14.3	▲13.6	▲8.9	6.0	5.4	46.5	▲11.4
1月からの累計	141,565	56,201	9,549	70,396	119.1	73.6	103.5	97.2	113.9	105.3	88.4	95.2	109.1
前年同期	129,307	53,962	8,707	61,647	118.9	72.6	111.8	98.1	114.7	103.8	94.4	96.6	111.7
増減量	12,259	2,240	842	8,749	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	9.5	4.2	9.7	14.2	0.2	1.4	▲7.4	▲0.9	▲0.7	1.4	▲6.4	▲1.4	▲2.3

(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。



〔表5〕 電気機械、造船活動水準

(単位: IIP<20年=100>・%、千G/T、%)

	I I P							造船				
	電気機械	重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電子 部品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
2023年度	100.2	101.8	94.5	91.1	106.4	73.9	80.1	8,544	9,533	11,699	8,877	27,629
2024年度	100.6	96.1	93.5	91.6	100.2	60.6	79.0	9,222	8,893	10,708	8,212	29,383
2024年10-12月	103.5	98.0	94.2	88.7	113.2	59.2	80.8	2,067	1,685	1,837	1,585	29,841
2025年 1-3月	101.2	104.3	86.4	88.2	80.3	75.6	73.9	2,453	2,858	2,156	2,525	29,383
4-6月	96.4	90.6	98.1	103.5	79.0	45.8	78.1	2,282	2,170	2,867	2,095	29,993
7-9月	103.1	92.7	83.2	85.2	76.0	57.8	87.8	2,079	2,445	1,454	2,044	29,272
10-12月	105.8	96.7	88.2	88.4	87.7	59.9	81.4	2,532	2,052	2,460	1,661	30,011
2025年 11月	98.1	91.0	82.8	83.2	81.2	53.8	72.9	526	675	612	578	28,982
12月	108.8	101.7	89.3	89.6	88.1	63.9	87.4	994	421	1,455	375	30,011
2026年 1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	439	923	29,356
2023年度	▲3.4	▲5.4	▲3.8	▲8.4	13.1	▲15.4	1.0	▲2.7	4.8	▲12.2	5.9	11.8
2024年度	0.4	▲5.7	▲1.0	0.6	▲5.9	▲18.0	▲1.3	7.9	▲6.7	▲8.5	▲7.5	6.3
2024年10-12月	0.4	▲5.9	1.3	1.1	1.8	▲13.2	▲3.9	▲14.9	▲37.1	▲59.6	▲36.3	▲0.5
2025年 1-3月	1.1	1.0	▲4.7	1.0	▲21.8	▲18.5	▲0.9	27.1	9.3	▲17.3	11.5	▲1.5
4-6月	1.7	2.2	▲4.5	0.5	▲22.1	4.0	1.4	▲5.9	▲0.2	▲39.8	5.4	2.1
7-9月	0.2	▲0.6	▲8.5	▲1.5	▲28.2	▲9.2	3.9	▲8.6	12.3	▲25.4	▲3.3	▲2.4
10-12月	2.2	▲1.3	▲6.3	▲0.4	▲22.5	1.1	0.7	22.5	21.8	33.9	4.8	2.5
2025年 11月	▲2.1	▲4.3	▲12.4	▲6.5	▲28.5	▲3.4	▲6.8	▲21.1	41.0	159.2	39.7	0.1
12月	3.3	▲1.0	▲0.3	4.1	▲13.2	▲2.8	6.8	61.0	▲17.6	59.3	▲31.5	3.6
2026年 1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲13.4	▲3.8	▲2.2
4月からの累計	101.8	93.4	89.8	92.4	80.9	54.5	82.4	6,894	6,667	7,219	6,724	-
前年同期	100.4	93.3	95.9	92.8	106.8	55.6	80.8	6,769	6,035	9,058	6,647	-
増減量	-	-	-	-	-	-	-	124	632	▲1,839	77	-
前年同期比	1.3	0.0	▲6.3	▲0.4	▲24.2	▲2.1	2.1	1.8	10.5	▲20.3	1.2	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

### 3. 鋼材受注

－12月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比1.8%増の291万トンと

4ヵ月連続で増加、25暦年では前年比1.0%減の3,308万トンと4年連続の減少－

○12月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比1.8%増の291万トンと4ヵ月連続で増加

- ・ 建設用(4.9%増)は、土木(1.5%増・17ヵ月ぶり)、建築(7.9%増・2ヵ月ぶり)、その他建設(0.2%増・2ヵ月ぶり)がいずれも増加したことから、全体では2ヵ月ぶりの増加となった。  
※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。
- ・ 製造業用(1.9%増)は、自動車(1.2%減・5ヵ月ぶり)、電機(3.7%減・2ヵ月連続)が減少したものの、造船(2.1%増、5ヵ月連続)、産機(11.8%増・4ヵ月連続)が増加したことにより、全体では2ヵ月ぶりの増加となった。
- ・ 建設向けのウェイトが高い販売業者向け(0.6%減)は2ヵ月ぶりの減少となった。
- ・ 内需全体(1.8%増)では4ヵ月連続で増加となった。
- ・ 輸出向け(9.9%減)は3ヵ月連続で減少となった。
- ・ 25暦年では、製造業向け(前年比1.5%増)が増加したものの、建設業向け(同2.5%減)、販売業者向け(同3.2%減)が減少したことから、内需全体では前年比1.0%減の3,308万トンと4年連続の減少となった。

○12月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比1.2%増の86.5万トンと2ヵ月連続の増加

- ・ 製造業用(0.7%増)は、自動車(4.0%減・2ヵ月連続)が減少したものの、産機(7.5%増・4ヵ月連続)、次工程(4.2%増・2ヵ月連続)が増加したことから、全体では2ヵ月連続の増加となった。
- ・ 内需全体(1.2%増)は2ヵ月連続の増加となった。
- ・ 輸出向け(9.8%減)は4ヵ月連続の減少となった。
- ・ 25暦年の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年比横ばいの993万トンとなった。

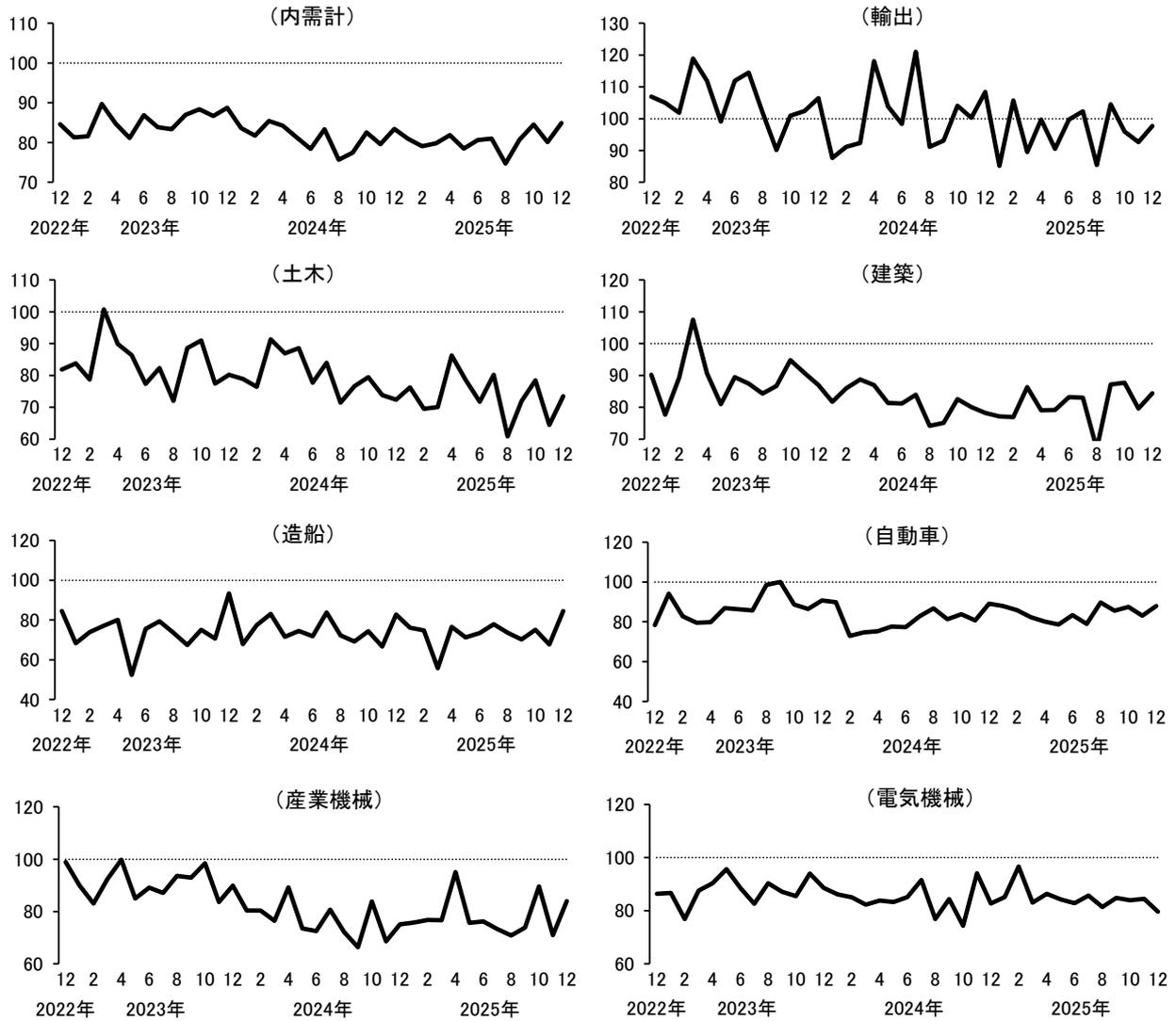
〔表6〕鋼材受注総括表

(単位：千トン、%)

	普通鋼鋼材										販売業者	内需計	輸出
	建設計	土木			製造業計			電機					
		土木	建築	その他建設	造船	自動車	産機	電機					
2023年度	8,757	1,764	5,164	1,829	14,946	2,888	7,234	1,242	1,313	11,246	34,949	22,023	
2024年度	8,176	1,648	4,747	1,781	14,296	2,816	6,885	1,072	1,269	10,567	33,039	22,170	
2024年10-12月	2,034	401	1,186	447	3,655	722	1,762	268	312	2,710	8,399	5,690	
2025年 1-3月	2,017	384	1,184	450	3,578	666	1,780	270	329	2,611	8,205	5,101	
4-6月	2,044	421	1,189	434	3,573	713	1,684	290	315	2,628	8,245	5,277	
7-9月	1,977	379	1,168	431	3,598	715	1,766	256	313	2,511	8,087	5,317	
10-12月	2,070	385	1,239	445	3,739	733	1,797	287	308	2,729	8,538	5,208	
2025年 10月	721	139	432	150	1,261	242	608	105	104	911	2,892	1,745	
11月	653	115	392	147	1,169	218	578	83	105	918	2,741	1,686	
12月	695	131	415	149	1,310	273	612	99	99	900	2,906	1,777	
2023年度	▲7.5	▲6.5	▲8.8	▲4.4	1.4	1.9	6.6	▲10.6	▲1.9	1.3	▲1.0	1.1	
2024年度	▲6.6	▲6.6	▲8.1	▲2.6	▲4.3	▲2.5	▲4.8	▲13.7	▲3.3	▲6.0	▲5.5	0.7	
2024年10-12月	▲9.8	▲9.2	▲11.7	▲5.1	▲5.1	▲6.4	▲4.7	▲16.3	▲6.3	▲7.1	▲6.9	1.0	
2025年 1-3月	▲6.6	▲12.5	▲6.3	▲1.7	0.8	▲9.5	7.9	▲3.4	4.5	▲9.0	▲4.4	3.4	
4-6月	▲4.0	▲6.6	▲3.2	▲3.5	3.2	1.5	5.2	4.9	0.5	▲4.6	▲1.2	▲9.4	
7-9月	▲0.9	▲8.2	1.7	▲0.9	▲0.1	▲1.5	1.4	▲0.6	▲0.4	0.8	▲0.0	▲4.3	
10-12月	1.7	▲4.2	4.5	▲0.3	2.3	1.6	2.0	7.4	▲1.2	0.7	1.7	▲8.5	
2025年 10月	3.6	▲1.4	6.3	1.0	5.1	1.0	4.4	6.8	13.0	▲1.7	2.5	▲7.8	
11月	▲3.3	▲12.7	▲0.6	▲2.2	▲0.1	1.7	3.0	3.4	▲10.2	4.6	0.6	▲7.6	
12月	4.9	1.5	7.9	0.2	1.9	2.1	▲1.2	11.8	▲3.7	▲0.6	1.8	▲9.9	
1月からの累計	8,108	1,568	4,780	1,760	14,488	2,827	7,028	1,104	1,266	10,480	33,076	20,903	
前年同期	8,318	1,703	4,826	1,789	14,269	2,886	6,755	1,081	1,255	10,826	33,413	22,004	
増減量	▲210	▲135	▲46	▲29	219	▲59	272	23	11	▲346	▲337	▲1,101	
前年同期比	▲2.5	▲7.9	▲0.9	▲1.6	1.5	▲2.0	4.0	2.1	0.8	▲3.2	▲1.0	▲5.0	

(出所) 日本鉄鋼連盟

[図19] 普通鋼鋼材受注推移 (季節調整済指数、2019年=100)



[表6] 鋼材受注総括表 (続)

	特 殊 鋼 鋼 材							(単位：千トン、%)	
	製造業計	鋼 材			販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計	
		産 機	自動車	次工程				内需計	輸出計
2023年度	9,163	1,245	4,274	3,234	795	10,247	3,997	45,197	26,021
2024年度	8,772	1,201	3,997	3,120	810	9,873	3,829	42,912	26,000
2024年10-12月	2,271	294	1,050	812	205	2,549	975	10,949	6,664
2025年 1-3月	2,115	292	963	748	191	2,375	923	10,581	6,024
4-6月	2,212	322	1,002	778	199	2,481	956	10,727	6,232
7-9月	2,247	305	1,046	789	195	2,513	946	10,600	6,263
10-12月	2,266	316	1,034	805	209	2,559	904	11,097	6,112
2025年 10月	744	106	342	259	69	840	299	3,732	2,044
11月	756	107	351	266	71	853	294	3,594	1,980
12月	766	103	342	280	69	865	311	3,771	2,088
2023年度	2.0	▲13.2	11.9	▲1.1	▲11.3	0.7	▲8.1	▲0.6	▲0.4
2024年度	▲4.3	▲3.5	▲6.5	▲3.5	1.9	▲3.7	▲4.2	▲5.1	▲0.1
2024年10-12月	▲2.7	▲2.7	▲5.7	▲0.9	3.9	▲2.3	▲1.2	▲5.9	0.6
2025年 1-3月	▲1.6	▲0.6	▲1.7	▲3.0	▲8.0	▲2.3	▲2.6	▲3.9	2.4
4-6月	1.4	6.5	1.8	▲0.5	▲5.4	0.7	▲1.0	▲0.8	▲8.2
7-9月	1.9	▲2.6	4.6	1.5	▲4.2	1.2	▲2.2	0.2	▲3.9
10-12月	▲0.2	7.7	▲1.6	▲0.8	1.8	0.4	▲7.2	1.4	▲8.3
2025年 10月	▲1.9	1.9	0.5	▲6.7	▲0.7	▲1.4	▲11.0	1.6	▲8.3
11月	0.6	14.4	▲1.0	0.2	3.1	1.2	▲0.0	0.8	▲6.6
12月	0.7	7.5	▲4.0	4.2	3.0	1.2	▲9.8	1.7	▲9.9
1月からの累計	8,840	1,235	4,044	3,121	793	9,928	3,728	43,004	24,631
前年同期	8,807	1,203	4,014	3,143	826	9,927	3,854	43,340	25,858
増減量	34	32	30	▲22	▲33	1	▲126	▲336	▲1,226
前年同期比	0.4	2.7	0.8	▲0.7	▲4.0	0.0	▲3.3	▲0.8	▲4.7

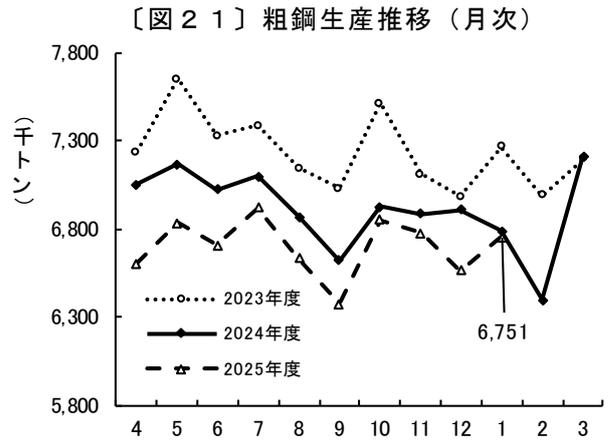
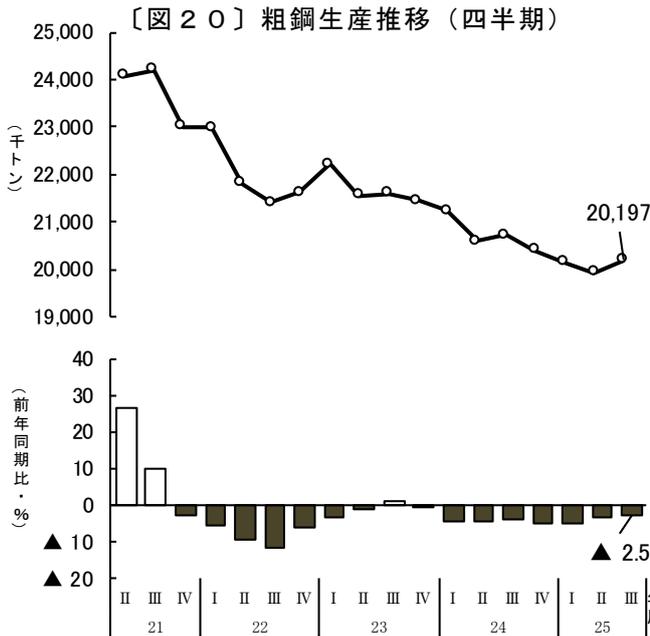
4. 鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

－1月の粗鋼生産(速報)は

前年同月比0.5%減の675万トンと10ヵ月連続の減少－

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 1月の粗鋼生産(速報)は前年同月比0.5%減の675万トンと10ヵ月連続の減少となった。
- ・ 1月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比4.7%減の449万トンと3ヵ月連続での減少となった。
- ・ 12月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比1.2%減の276万トンと3ヵ月連続の減少となった。輸出向け出荷は同7.8%減の188万トンと4ヵ月連続の減少となった。
- ・ 12月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比8千トン増の512万トンとなった。なお、在庫率は前月末比3.1ポイント上昇の185.6%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2025年7月～9月	2,011	2,062	1,993
2025年10月～12月	2,023	2,083	2,020
2026年1月～3月	2,005	2,049	

〔表7〕鉄鋼需給総括表

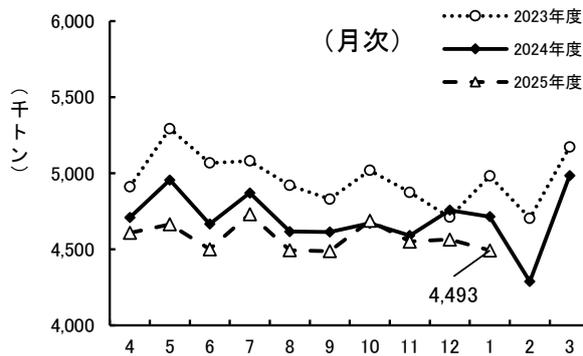
(単位:千トン、%)

	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2023年度	86,828	63,849	22,979	59,566	15,084	59,423	36,713	22,710	6,544	5,455	170.0
2024年度	82,954	61,368	21,586	56,441	14,342	56,854	34,921	21,932	6,131	4,981	162.4
2024年10-12月	20,720	15,410	5,310	14,020	3,601	14,423	8,851	5,573	6,046	4,979	168.8
2025年 1-3月	20,396	15,105	5,291	13,988	3,547	13,902	8,654	5,248	6,131	4,981	172.7
4-6月	20,148	14,726	5,422	13,773	3,523	13,644	8,555	5,089	6,261	5,123	179.6
7-9月	19,930	15,048	4,881	13,713	3,689	13,745	8,415	5,330	6,229	5,050	180.0
10-12月	20,197	14,951	5,246	13,802	3,528	13,767	8,536	5,232	6,264	5,118	179.9
2025年 11月	6,776	4,973	1,804	4,551	1,165	4,476	2,800	1,677	6,337	5,111	182.5
12月	6,566	4,916	1,650	4,564	1,201	4,637	2,757	1,880	6,264	5,118	185.6
2026年 P1月	6,751	5,090	1,661	4,493	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	▲1.2	▲0.7	▲2.3	▲0.1	▲1.6	▲1.1	▲3.5	3.2	143	68	-
2024年度	▲4.5	▲3.9	▲6.1	▲5.2	▲4.9	▲4.3	▲4.9	▲3.4	▲413	▲475	-
2024年10-12月	▲4.1	▲1.8	▲10.2	▲4.0	▲5.6	▲1.7	▲5.2	4.4	▲403	▲345	-
2025年 1-3月	▲4.9	▲3.8	▲8.1	▲5.9	▲4.3	▲3.4	▲3.3	▲3.6	86	2	-
4-6月	▲5.2	▲5.2	▲5.2	▲3.9	▲0.6	▲4.9	▲5.2	▲4.4	130	142	-
7-9月	▲3.2	▲1.8	▲7.3	▲2.8	1.1	▲3.0	0.3	▲7.9	▲32	▲73	-
10-12月	▲2.5	▲3.0	▲1.2	▲1.6	▲2.0	▲4.6	▲3.6	▲6.1	35	69	-
2025年 11月	▲1.6	▲2.3	0.4	▲0.9	▲3.2	▲6.1	▲4.2	▲9.2	75	65	-
12月	▲4.9	▲5.8	▲2.3	▲4.1	0.8	▲4.0	▲1.2	▲7.8	▲73	8	-
2026年 1月	▲0.5	▲1.1	1.3	▲4.7	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	67,026	49,815	17,210	45,782	10,740	41,156	25,506	15,650	-	-	-
前年同期	69,344	51,409	17,935	47,168	10,794	42,952	26,267	16,685	-	-	-
増減量	▲2,318	▲1,593	▲724	▲1,386	▲54	▲1,796	▲761	▲1,035	-	-	-
前年同期比	▲3.3	▲3.1	▲4.0	▲2.9	▲0.5	▲4.2	▲2.9	▲6.2	-	-	-

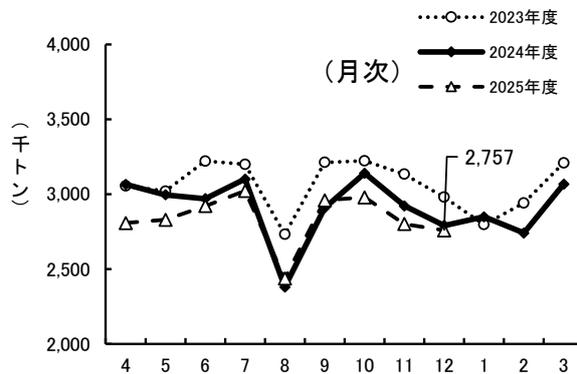
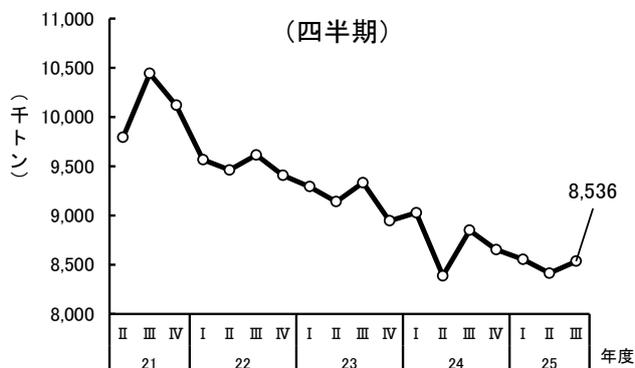
(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22〕 普通鋼鋼材需給

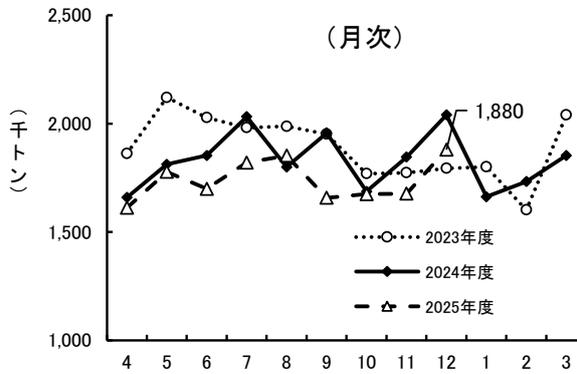
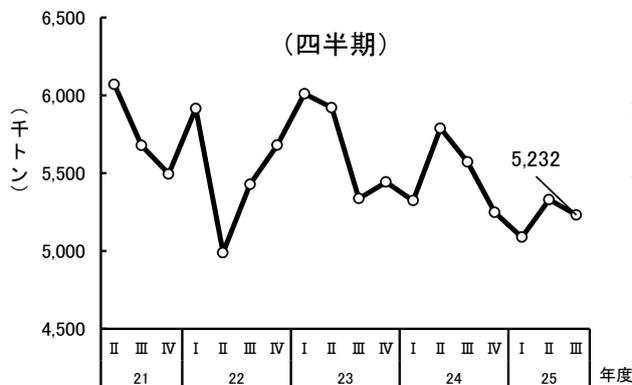
生産



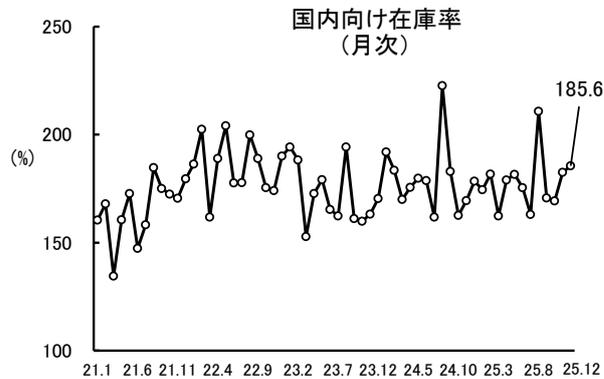
国内向け出荷



輸出向け出荷

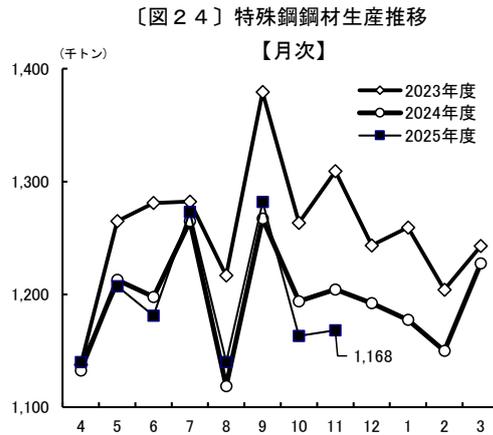
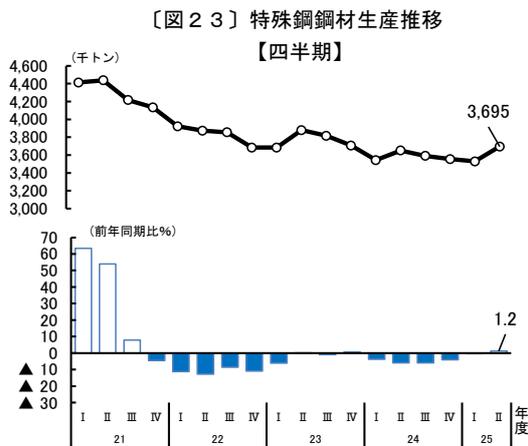


国内向け在庫



○生産、出荷、在庫動向

- ・ 11月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比3.0%減の117万トンと2ヵ月連続で減少となった。
- ・ 鋼種別には、工具鋼(同44.5%増)、ばね鋼(同0.4%増)が増加したものの、機械構造用炭素鋼(同3.5%減)、構造用合金鋼(同2.7%減)、ステンレス鋼(同4.5%減)、高抗張力鋼(同5.2%減)が減少した。
- ・ 11月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け(同1.1%減、85.6万トン・3ヵ月連続)、輸出向け(同3.6%減、31.7万トン・2ヵ月連続)がいずれも減少し、合計(同1.8%減、117万トン)では3ヵ月連続の減少となった。
- ・ 11月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比2.9万トン減の154万トンとなった。なお、在庫率は4.6ポイント低下し131.0%となった。



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

	生産	出荷			在庫		鋼種別生産					
		計	国内	輸出	在庫率	鋼種別生産						
						工具鋼	SC	AL	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼	
2023年度	15,084	14,684	10,606	4,078	1,732	135.4	166	3,894	3,176	304	1,823	4,187
2024年度	14,348	14,010	10,173	3,837	1,636	137.2	195	3,602	3,015	284	1,855	3,915
2024年 7-9月	3,651	3,531	2,518	1,013	1,739	147.8	47	925	773	73	467	984
10-12月	3,601	3,603	2,636	967	1,647	137.1	46	907	750	73	467	981
2025年 1-3月	3,553	3,435	2,511	924	1,636	142.9	49	880	758	66	458	977
4-6月	3,529	3,474	2,551	923	1,586	137.0	41	873	777	76	460	919
7-9月	3,695	3,544	2,528	1,016	1,595	135.0	50	912	751	66	488	1,039
2025年 9月	1,282	1,264	890	374	1,595	126.2	19	311	258	25	166	372
10月	1,163	1,154	853	301	1,565	135.6	15	290	245	21	130	330
11月	1,168	1,173	856	317	1,536	131.0	14	288	246	22	155	315
2023年度	▲1.6	▲3.8	▲2.6	▲6.9	5	-	6.7	▲2.2	▲1.7	▲2.6	▲10.7	5.8
2024年度	▲4.9	▲4.6	▲4.1	▲5.9	▲96	-	17.7	▲7.5	▲5.1	▲6.4	1.7	▲6.5
2024年 7-9月	▲5.9	▲5.5	▲6.6	▲2.6	16	-	62.5	▲6.9	▲6.1	▲3.2	0.5	▲10.4
10-12月	▲5.6	▲4.6	▲3.4	▲7.5	▲92	-	▲15.8	▲11.3	▲6.6	▲8.0	3.7	▲4.8
2025年 1-3月	▲4.1	▲4.1	▲1.6	▲10.2	▲11	-	2.0	▲5.8	2.9	▲8.0	2.4	▲9.9
4-6月	▲0.4	0.9	1.7	▲1.1	▲50	-	▲23.6	▲1.9	5.9	6.5	▲0.6	▲5.5
7-9月	1.2	0.4	0.4	0.3	9	-	5.7	▲1.4	▲2.9	▲10.5	4.5	5.6
2025年 9月	1.2	▲0.6	▲2.3	3.6	▲25	-	2.3	▲5.4	▲6.2	1.1	4.0	11.9
10月	▲3.4	▲4.5	▲5.9	▲0.5	▲30	-	▲18.9	▲3.5	▲2.1	▲21.6	▲11.7	▲2.0
11月	▲3.0	▲1.8	▲1.1	▲3.6	▲29	-	44.5	▲3.5	▲2.7	0.4	▲4.5	▲5.2
4月からの累計	9,555	9,345	6,788	2,556	-	-	119	2,363	2,018	185	1,233	2,603
前年同期	9,602	9,375	6,798	2,577	-	-	128	2,414	2,009	193	1,240	2,626
増減量	▲47	▲31	▲10	▲20	-	-	▲9	▲51	9	▲9	▲7	▲23
前年同期比	▲0.5	▲0.3	▲0.1	▲0.8	-	-	▲7.1	▲2.1	0.4	▲4.5	▲0.5	▲0.9

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟

(注) 1. 在庫は前月(期)末比増減。

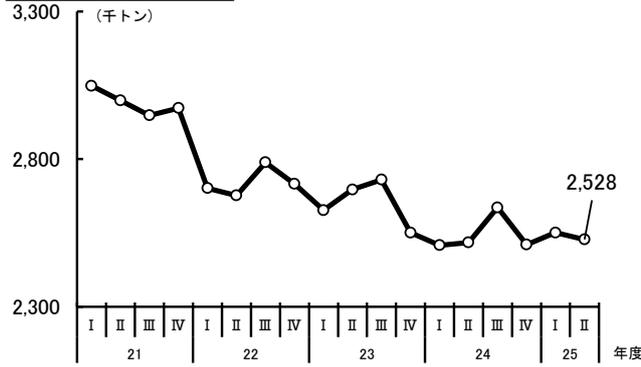
2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

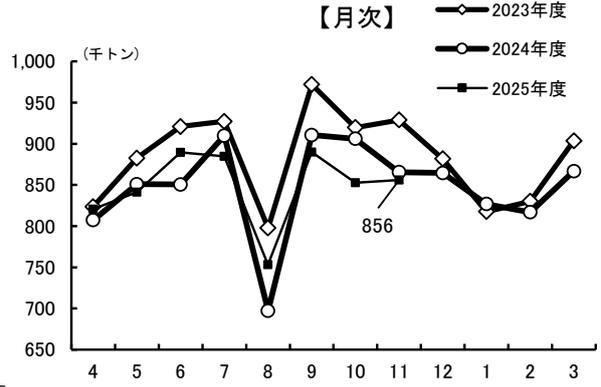
4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計(最終鋼材)において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

〔図25〕特殊鋼鋼材需給

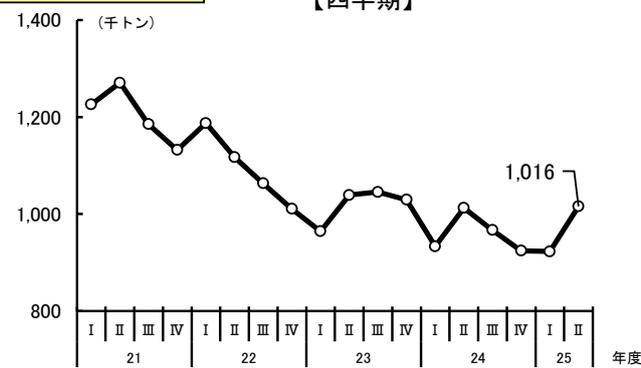
国内向け出荷



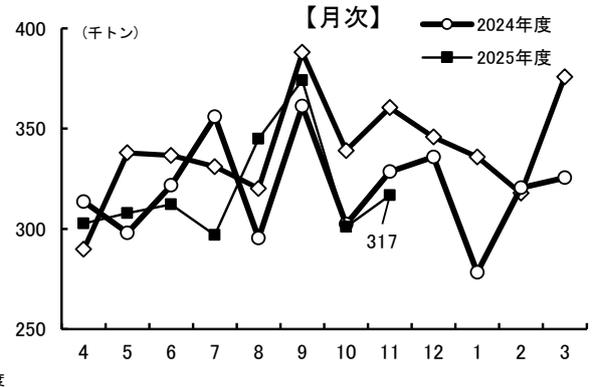
【月次】



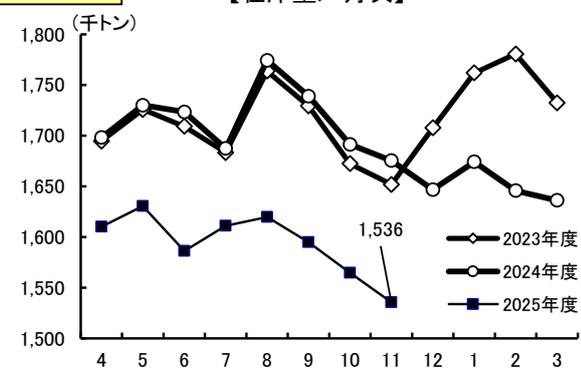
輸出向け出荷



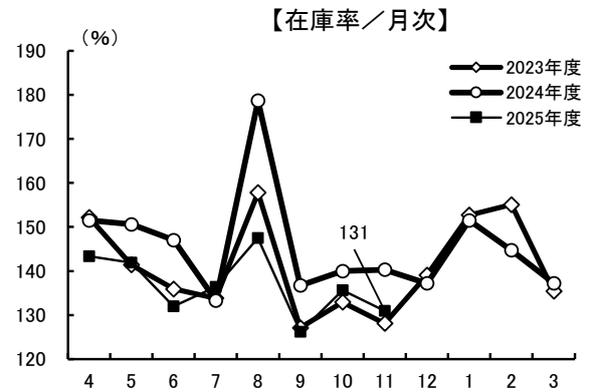
【月次】



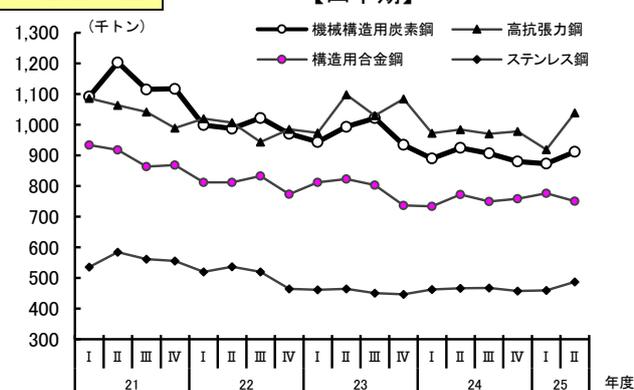
鋼材在庫



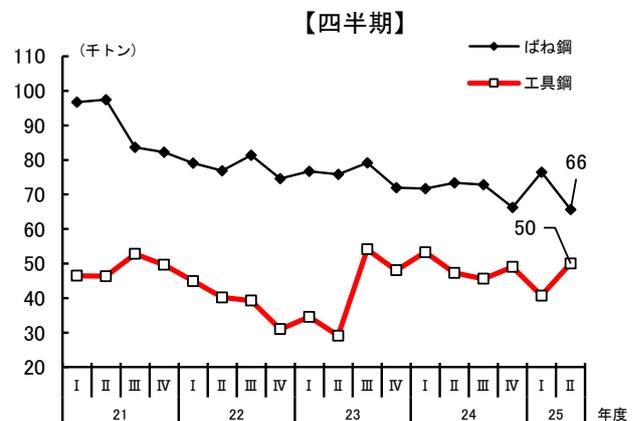
【在庫率/月次】



鋼種別生産



【四半期】

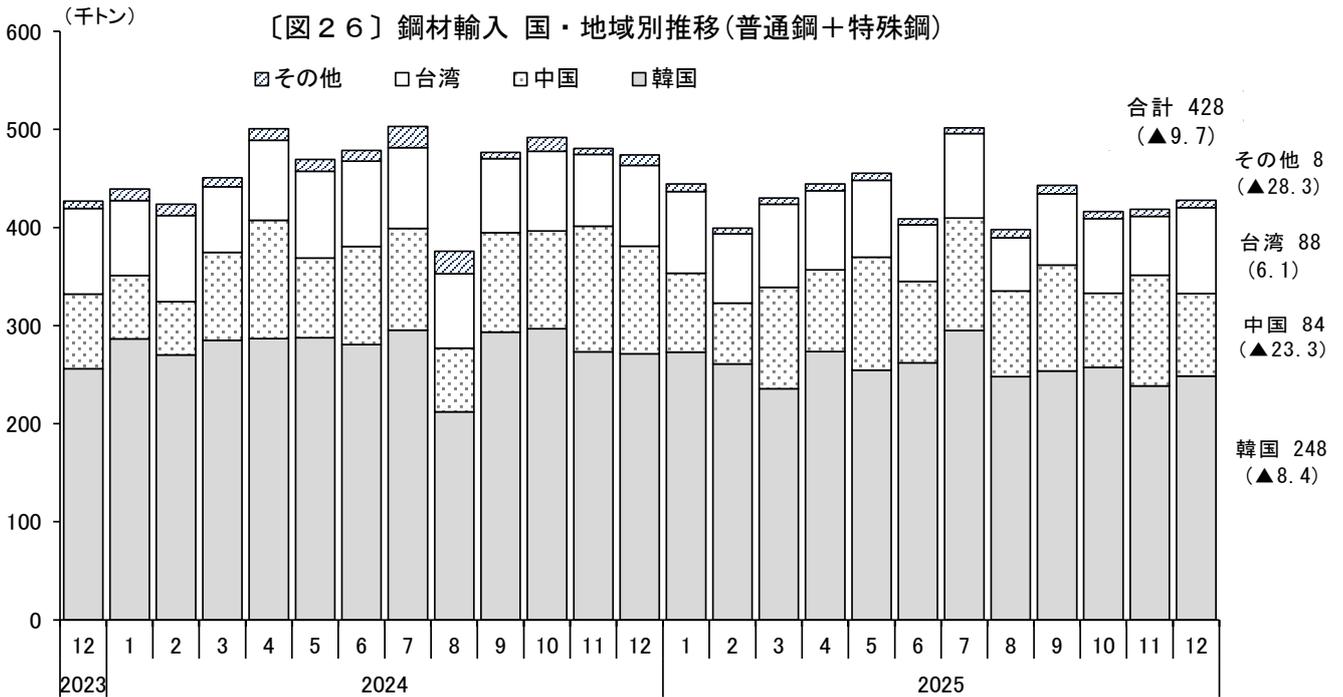


5. 鋼材輸入、鋼材流通

**－12月の鋼材輸入(普通鋼＋特殊鋼)は、前年同月比9.7%減の43万トンと4ヵ月連続の減少、25暦年は前年比6.8%減の519万トンと3年ぶりの減少－**

○ 12月の鋼材輸入の動向

- ・ 12月の鋼材輸入(普通鋼＋特殊鋼)は、前年同月比9.7%減の43万トンと4ヵ月連続の減少となった。
- ・ 2025暦年の鋼材輸入(普通鋼＋特殊鋼)は、前年比6.8%減の519万トンと3年ぶりに減少した。
- ・ 国別では、台湾(6.1%増・5ヵ月ぶり)が増加したものの、韓国(8.4%減・4ヵ月連続)、中国(23.3%減・3ヵ月連続)などがともに減少した。



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。( )は前年同月比。

〔表9〕普通鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国 別			
		合計	線 材	厚 中 板	熱 延 薄 板 類	冷 延 薄 板 類	亜 め っ き 鋼 板	鉛 め っ き 鋼 板	その他	韓 国	台 湾	中 国
2023年度	5,230	4,770	248	435	1,459	917	1,240	472	3,016	863	786	105
2024年度	5,524	5,002	241	511	1,519	908	1,274	549	3,046	888	973	95
2024年10-12月	1,446	1,304	59	150	378	233	329	155	782	218	286	18
2025年 1- 3月	1,274	1,148	43	105	368	193	303	136	719	217	203	10
4- 6月	1,309	1,180	53	136	349	204	296	142	737	200	232	11
7- 9月	1,342	1,213	51	133	335	223	317	153	746	194	262	10
10-12月	1,263	1,138	46	101	321	188	344	138	686	204	238	10
2025年 10月	416	373	6	34	107	69	98	60	237	70	62	4
11月	419	378	20	36	102	58	133	30	221	53	101	3
12月	428	387	21	32	112	62	113	48	227	82	75	3
2023年度	9.0	10.6	▲18.3	11.9	4.4	12.7	25.1	12.3	12.9	3.3	13.5	▲7.1
2024年度	5.6	4.9	▲2.9	17.6	4.2	▲1.0	2.7	16.3	1.0	2.9	23.8	▲9.4
2024年10-12月	6.3	4.1	1.4	41.0	▲1.5	▲0.8	▲5.9	29.3	▲0.4	▲3.9	33.4	▲30.3
2025年 1- 3月	▲3.0	▲4.0	▲22.1	▲8.6	3.4	▲20.9	▲3.0	19.6	▲8.3	1.2	16.7	▲61.2
4- 6月	▲9.7	▲10.4	▲26.1	2.8	▲13.7	▲21.3	▲6.9	8.3	▲7.6	▲15.5	▲9.8	▲57.2
7- 9月	▲0.9	▲1.6	▲22.9	7.6	▲8.9	0.4	▲2.4	20.0	▲0.2	▲10.5	15.9	▲75.2
10-12月	▲12.7	▲12.7	▲21.0	▲32.7	▲15.2	▲19.2	4.4	▲10.8	▲12.3	▲6.2	▲16.9	▲43.6
2025年 10月	▲15.3	▲16.0	▲62.1	▲49.6	▲16.6	▲8.0	▲7.7	14.6	▲14.6	▲4.9	▲24.8	▲63.0
11月	▲12.9	▲12.7	▲25.3	▲25.5	▲15.2	▲20.7	22.6	▲47.3	▲11.7	▲22.3	▲9.6	11.1
12月	▲9.7	▲9.4	27.8	▲10.9	▲13.8	▲27.8	▲1.6	6.0	▲10.3	6.7	▲18.7	▲35.4
1月からの累計	5,188	4,679	194	476	1,374	809	1,258	569	2,887	815	935	41
前年同期	5,564	5,050	253	521	1,507	959	1,283	527	3,111	885	944	110
増 減 量	▲376	▲371	▲59	▲46	▲133	▲150	▲25	42	▲223	▲70	▲8	▲69
前年同期比	▲6.8	▲7.3	▲23.2	▲8.8	▲8.9	▲15.7	▲1.9	8.0	▲7.2	▲8.0	▲0.9	▲62.5

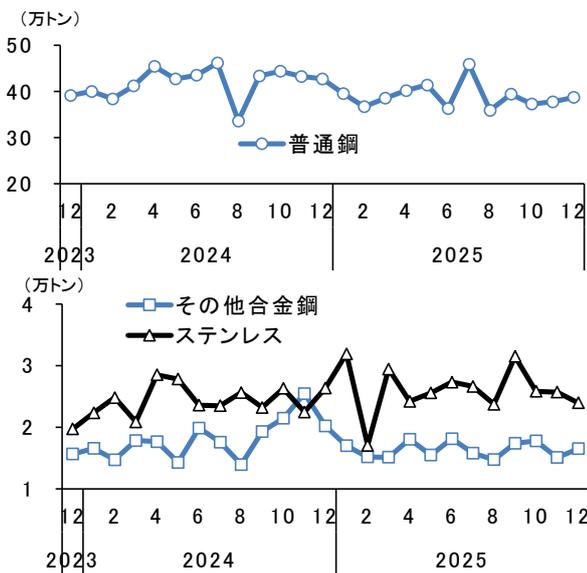
(出所) 財務省貿易統計

- 鋼種別では、普通鋼(9.4%減)が4ヵ月連続の減少、特殊鋼(13.0%減)が3ヵ月連続の減少となった。
- 普通鋼は、線材(27.8%増)が増加したものの、厚中板(10.9%減)、熱延薄板類(13.8%減)、冷延薄板類(27.8%減)、亜鉛めっき鋼板(1.6%減)が減少した。
- 特殊鋼は、ステンレス鋼(9.1%減)、その他合金鋼(18.1%減)がともに減少した。

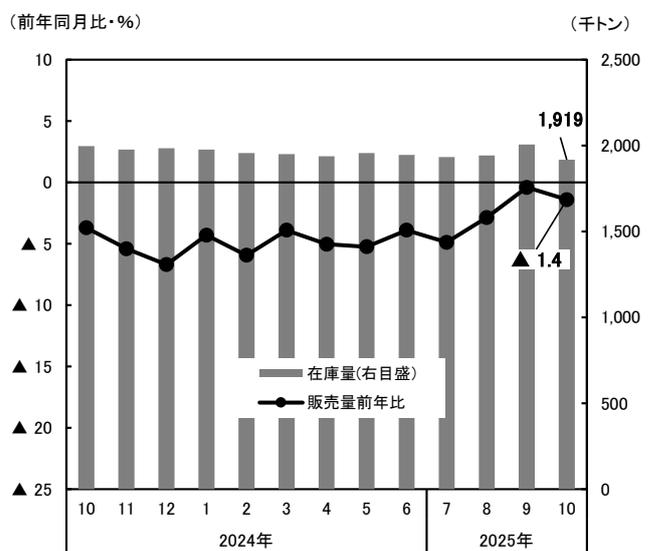
○10月の鋼材流通の動向

- 市中販売は、前年同月比1.4%減の207万トンと、15ヵ月連続の減少となった。
- 市中在庫(自社所有分)は、前月末比で3.3万トン減少の192万トンと3ヵ月ぶりの減少となった。

〔図27〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図28〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表10〕 特殊鋼鋼材輸入

	特殊鋼鋼材輸入									
	合計	ステンレス	その他合金鋼	特殊鋼鋼材輸入			国別			
				線材	鋼板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2023年度	459	254	205	55	13	137	224	66	136	34
2024年度	523	306	217	63	23	132	222	79	182	41
2024年10-12月	142	75	67	19	8	40	60	19	51	12
2025年1-3月	126	78	47	16	4	28	51	22	42	10
4-6月	129	77	52	13	2	36	53	17	49	9
7-9月	130	82	48	13	4	31	51	19	48	13
10-12月	125	75	49	14	3	32	59	19	35	12
2025年10月	44	26	18	5	1	12	20	6	14	4
11月	41	26	15	6	1	9	17	7	12	4
12月	40	24	17	4	1	12	21	6	9	4
2023年度	▲4.9	▲8.7	0.4	▲3.8	▲22.1	5.2	22.7	▲12.3	▲24.0	▲27.1
2024年度	13.8	20.2	5.9	14.8	72.8	▲4.0	▲0.8	19.3	33.3	21.1
2024年10-12月	31.7	27.9	36.1	62.4	199.2	14.8	19.9	20.5	46.2	67.1
2025年1-3月	7.3	15.3	▲3.7	41.8	102.7	▲23.3	▲11.9	28.6	24.0	29.2
4-6月	▲2.3	▲3.5	▲0.3	▲1.4	▲54.9	8.7	▲7.7	▲17.3	10.0	6.7
7-9月	5.4	13.2	▲5.7	▲9.1	▲35.3	1.4	▲4.2	11.9	9.5	28.2
10-12月	▲12.2	0.5	▲26.4	▲25.8	▲60.9	▲19.9	▲1.6	▲0.6	▲31.3	▲2.9
2025年10月	▲8.7	▲1.8	▲17.1	17.0	19.0	▲27.4	6.9	▲23.2	▲20.4	▲0.6
11月	▲14.9	14.3	▲40.7	▲38.2	▲79.5	▲25.6	▲24.7	35.1	▲25.7	25.8
12月	▲13.0	▲9.1	▲18.1	▲34.4	▲55.5	▲4.0	19.5	▲2.1	▲47.2	▲21.5
1月からの累計	509	313	196	56	13	127	214	77	174	44
前年同期	514	295	219	58	21	140	229	74	174	38
増減量	▲5	17	▲23	▲2	▲8	▲13	▲15	3	1	5
前年同期比	▲1.0	5.9	▲10.3	▲3.2	▲37.0	▲9.3	▲6.3	4.3	0.5	13.9

(出所) 財務省貿易統計

〔表11〕 鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
25,356	2,075
24,339	1,950
6,133	1,985
5,915	1,950
5,956	1,946
5,873	1,951
-	-
2,074	1,919
-	-
-	-
▲1.2	▲43
▲4.0	▲125
▲5.3	▲56
▲4.7	▲35
▲4.7	▲4
▲2.8	5
-	-
▲1.4	▲33
-	-
-	-
19,819	-
20,603	-
▲784	-
▲3.8	-

(出所) 日本鉄鋼連盟  
(注) 在庫は前月(期)末

6. 鉄鋼輸出

—1月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比8.0%減の229万トンと3ヵ月連続での減少—

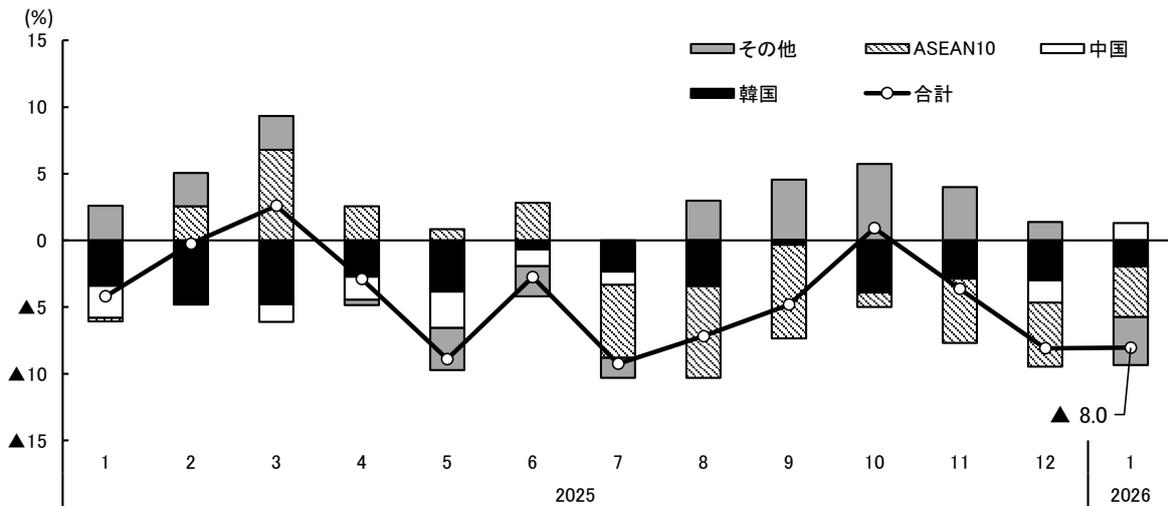
○ 1月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比8.0%減の229万トンと3ヵ月連続での減少

- ・ 仕向け先別にみると、中国向け(21.1%増・4ヵ月ぶり)が増加したものの、韓国向け(13.6%減・13ヵ月連続)、ASEAN向け(11.7%減・7ヵ月連続)などが減少した。
- ・ 1月の輸出平均単価は、全鉄鋼ベースで900ドルと前月比で17ヵ月連続での低下となった。

○ 12月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比5.2%減の187万トンと2ヵ月連続での減少

- ・ 品種別にみると、厚中板(9.6%減)、熱延鋼板類(6.3%減)、冷延鋼板類(8.4%減)、亜鉛めっき鋼板(15.6%減)がともに減少した。

〔図29〕 全鉄鋼仕向け先別輸出推移

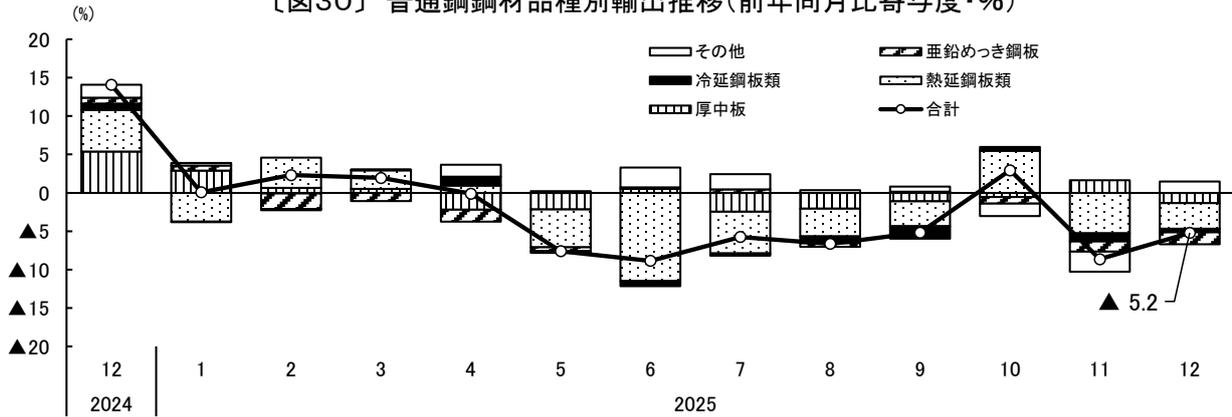


〔表12〕 鉄鋼輸出総括表

	輸出数量(千トン)				金額(FOB)		平均単価			円/ドル 換算レート
	全鉄鋼	鉄鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ドル		千円	
							全鉄鋼	鋼材		
2024暦年	31,711	132	3,142	27,808	31,371	47,403	989.3	989.9	149.6	151.10
2025暦年	30,394	181	2,915	26,687	28,513	42,683	938.1	940.3	140.8	149.70
2024年10-12月	7,829	64	738	6,864	7,475	11,247	954.8	958.1	144.2	150.46
2025年 1- 3月	7,773	42	831	6,756	7,342	11,277	944.6	946.4	145.4	153.59
4- 6月	7,493	61	748	6,535	7,085	10,296	945.6	949.1	137.9	145.31
7- 9月	7,596	25	619	6,798	7,173	10,539	944.4	944.9	138.8	146.92
10-12月	7,533	54	718	6,598	6,912	10,572	917.5	920.5	140.8	152.95
2025年 11月	2,398	16	268	2,065	2,171	3,327	905.4	907.5	139.1	153.24
12月	2,592	13	199	2,323	2,420	3,772	933.7	935.3	145.8	155.86
2026年 P1月	2,287	-	-	-	2,059	3,234	900.0	-	-	157.08
2024暦年	▲3.0	30.9	0.9	▲3.5	▲9.3	▲2.1	▲6.5	▲6.4	1.1	8.0
2025暦年	▲4.2	37.8	▲7.2	▲4.0	▲9.1	▲10.0	▲5.2	▲5.0	▲5.9	▲0.9
2024年10-12月	▲0.1	375.3	▲3.7	▲0.3	▲8.1	▲7.0	▲8.0	▲7.6	▲6.5	1.2
2025年 1- 3月	▲0.6	81.4	7.5	▲1.6	▲8.4	▲4.5	▲7.9	▲7.7	▲3.8	4.2
4- 6月	▲5.0	233.9	▲10.1	▲4.9	▲9.3	▲14.7	▲4.5	▲4.1	▲9.9	▲6.0
7- 9月	▲7.2	▲5.0	▲22.6	▲5.6	▲11.2	▲14.1	▲4.3	▲4.3	▲7.4	▲3.3
10-12月	▲3.8	▲16.2	▲2.7	▲3.9	▲7.5	▲6.0	▲3.9	▲3.9	▲2.3	1.7
2025年 11月	▲3.6	30.5	45.1	▲8.0	▲8.7	▲8.5	▲5.2	▲5.1	▲4.9	0.2
12月	▲8.1	▲1.8	▲31.9	▲5.5	▲8.1	▲6.0	▲0.0	0.0	2.3	2.3
2026年 1月	▲8.0	-	-	-	▲8.9	▲9.1	▲0.9	-	-	▲0.2
4月からの累計	24,909	139	2,084	19,931	23,229	34,640	932.6	938.2	139.2	-
前年同期	26,381	108	2,368	20,941	25,616	39,145	971.0	1,073.1	164.0	-
増減量	▲1,472	31	▲284	▲1,009	▲2,387	▲4,505	▲38.4	▲134.9	▲24.8	-
前年同期比	▲5.6	28.5	▲12.0	▲4.8	▲9.3	▲11.5	▲4.0	▲12.6	▲15.1	-

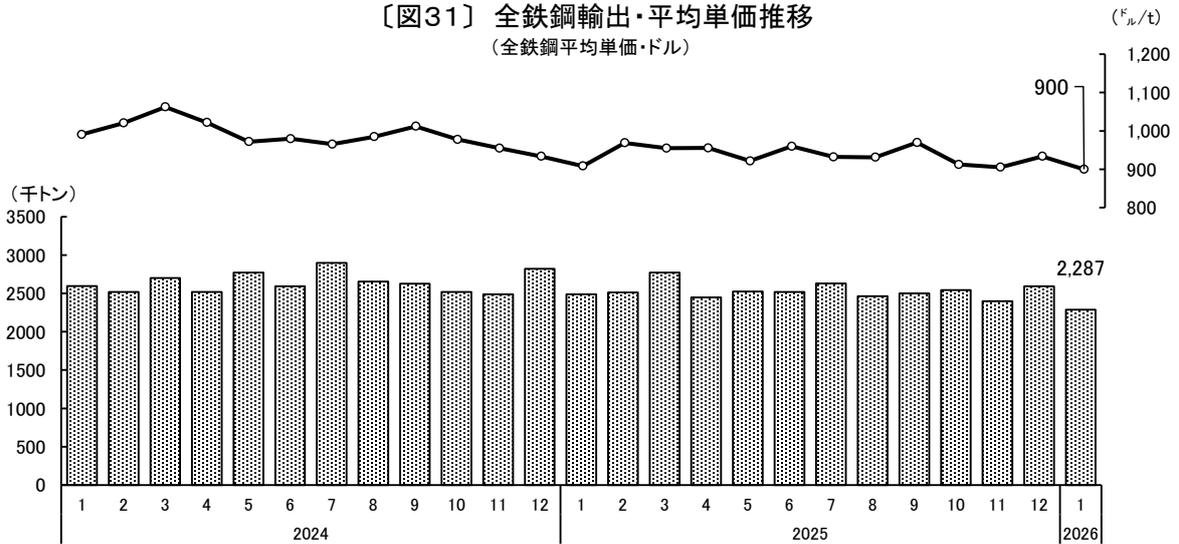
(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移

(全鉄鋼平均単価・ドル)



〔表13〕 国別品種別輸出推移

(単位：千トン、%)

	全鉄鋼計									普通鋼鋼材計				
	アジア	韓国	中国	ASEAN10	台湾	インド	EU	米国	メキシコ	厚中板	熱延鋼板類	冷延鋼板類	垂鉛めっき鋼板	
2024暦年	22,769	4,783	2,673	10,403	1,763	2,082	1,364	1,210	1,870	21,779	2,793	11,890	1,492	2,075
2025暦年	21,138	3,843	2,336	9,998	1,833	1,567	595	1,097	1,640	21,013	2,683	11,349	1,431	1,936
2024年10-12月	5,717	1,230	641	2,694	396	448	152	258	468	5,454	692	2,928	352	544
2025年 1-3月	5,456	1,019	585	2,618	583	341	153	277	462	5,353	721	2,854	385	466
4-6月	5,268	909	591	2,625	485	235	149	255	383	5,089	630	2,743	351	475
7-9月	5,216	932	573	2,343	373	557	162	301	388	5,324	646	2,890	364	518
10-12月	5,198	982	587	2,411	392	434	131	264	407	5,248	685	2,861	331	476
2025年 11月	1,672	352	190	765	114	127	15	83	106	1,628	210	912	105	142
12月	1,700	324	181	772	127	151	46	106	171	1,873	250	986	100	165
2026年 P1月	1,532	310	187	711	-	-	-	84	-	-	-	-	-	-
2024暦年	▲0.1	▲15.1	▲6.2	▲1.4	11.2	77.2	▲33.4	▲1.5	0.5	▲3.8	▲6.1	▲3.5	▲4.8	▲3.3
2025暦年	▲7.2	▲19.7	▲12.6	▲3.9	4.0	▲24.8	▲56.4	▲9.3	▲12.3	▲3.5	▲3.9	▲4.5	▲4.1	▲6.7
2024年10-12月	1.8	▲2.1	▲13.9	5.3	6.4	16.8	▲62.0	▲13.4	15.1	2.2	8.8	1.5	▲9.1	7.2
2025年 1-3月	▲1.9	▲24.7	▲14.9	10.2	40.0	▲35.8	▲53.1	▲15.0	▲8.9	1.4	11.1	1.5	▲0.2	▲8.2
4-6月	▲5.5	▲17.4	▲20.5	6.5	▲1.7	▲54.3	▲66.3	▲16.7	▲3.4	▲5.6	▲9.8	▲9.4	3.5	▲6.3
7-9月	▲11.8	▲15.2	▲4.5	▲18.3	▲18.3	▲5.2	▲63.6	▲6.0	▲22.2	▲5.9	▲14.2	▲7.5	▲12.6	0.6
10-12月	▲9.1	▲20.1	▲8.5	▲10.5	▲1.1	▲3.3	▲13.5	2.4	▲12.9	▲3.8	▲1.0	▲2.3	▲5.7	▲12.6
2025年 11月	▲7.6	▲16.3	▲1.7	▲13.5	6.0	8.3	▲42.3	1.7	▲22.5	▲8.6	16.1	▲9.3	▲15.5	▲14.2
12月	▲16.0	▲20.5	▲20.9	▲14.9	▲19.9	▲19.7	▲31.3	0.1	5.4	▲5.2	▲9.6	▲6.3	▲8.4	▲15.6
2026年 1月	▲9.0	▲13.6	21.1	▲11.7	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	17,214	3,133	1,937	8,091	1,250	1,226	442	904	1,178	15,660	1,962	8,495	1,047	1,469
前年同期	18,890	3,788	2,139	8,832	1,346	1,551	1,038	969	1,362	16,502	2,144	9,078	1,107	1,567
増減量	▲1,676	▲655	▲202	▲741	▲96	▲325	▲596	▲64	▲184	▲841	▲182	▲584	▲61	▲97
前年同期比	▲8.9	▲17.3	▲9.4	▲8.4	▲7.2	▲21.0	▲57.4	▲6.6	▲13.5	▲5.1	▲8.5	▲6.4	▲5.5	▲6.2

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

海外市場 -12月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比3.7%減-

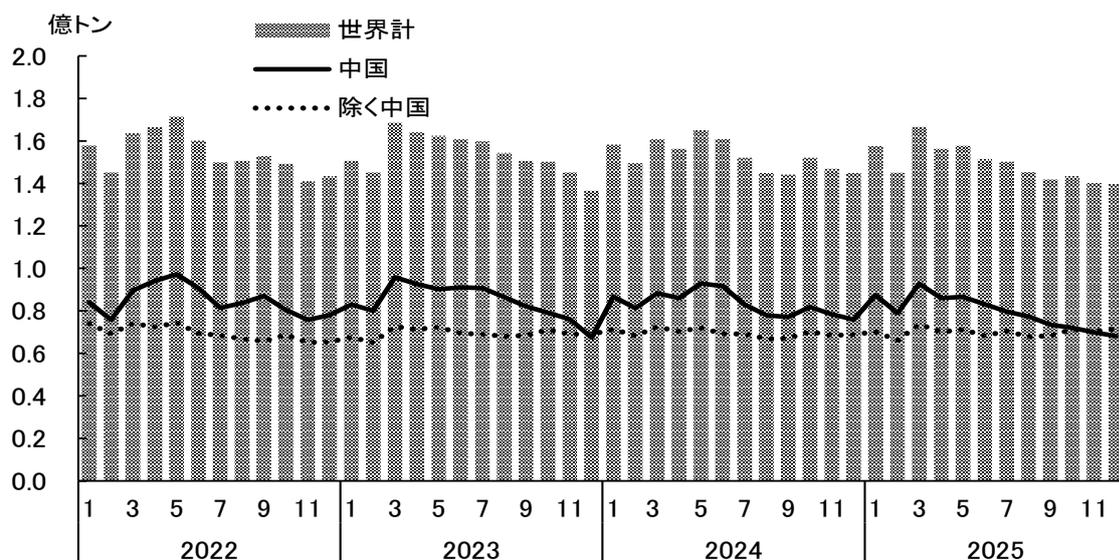
[表1] 主要国の粗鋼生産

(単位: 100万MT、%)

	2025年12月	前年同月比	2025年1~12月	前年同期比
日本	6.6	▲ 4.8	80.7	▲ 4.0
中国	68.2	▲ 10.3	960.8	▲ 4.4
韓国	5.2	▲ 2.4	61.9	▲ 2.8
台湾	1.4	▲ 17.8	17.2	▲ 10.5
インド	14.8	10.1	165.0	10.4
米国	6.9	3.6	82.0	3.1
ブラジル	2.6	▲ 1.9	33.3	▲ 1.6
EU27	9.9	3.9	126.2	▲ 2.6
ロシア	5.8	▲ 4.4	67.8	▲ 4.5
世界計	139.6	▲ 3.7	1,803.8	▲ 2.0

(出所) worldsteel等

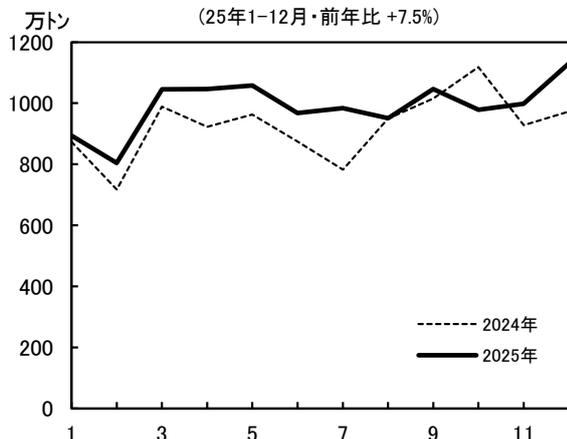
[図1] 世界粗鋼生産



(出所) worldsteel

[図2] 中国鋼材輸出

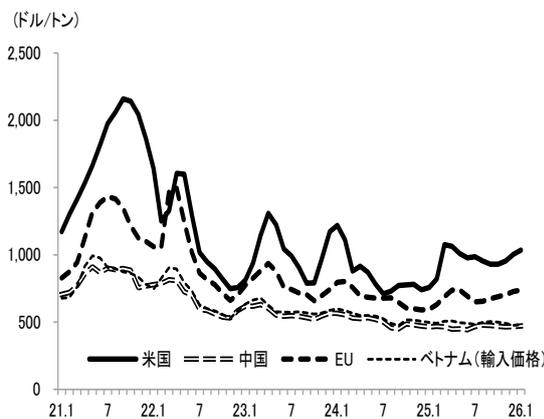
(25年1-12月・前年比 +7.5%)



(注) 速報ベース、半製品を除く

(出所) 中国海関総署

[図3] 熱延コイル市況推移



(出所) Kallanish

